THE KEIJO NIPPO
大正九年一月十七日　(土曜日)　第四千四百十三號　(一)

京城日報

將來の支那（上）

京城日報

吾人曾て支那現在の紛亂狀態を以て、我が嘉永安政間の國情に比し、結局年月の推移と共に一定の針路に向ふべきを一言したることありしが、近著の北京通信に梁大首の談として傳ふる所、亦之に吻合したるものあり。彼はいふ、支那は其の政體の更迭せられたるより以來こゝに八年、內憂外患の裡に經過し、未だ國礎を確立する能はず。內政の不統一は、野心政治家輩に陰謀の機を與へ、外患の頻發は、列強の乘ずる所と爲り、[illegible]危殆に瀕[illegible]吾等は此國步艱難の[illegible]八年を送りたるを[illegible]と共に大なる[illegible]新に企畫活動する[illegible]らず。即ち速に國[illegible]各友邦と親交を厚[illegible]和を基礎として國運の[illegible]如し、以て全世界に我が[illegible]の存在と、民國の主權を完全に確認せしめ、平等な[illegible]を獲得し、永遠に東[illegible]の和平を維持せんことを熱圖[illegible]からず。而して吾等の[illegible]は決して離事に[illegible]現今我民心大いに[illegible]居るを以て、我中華民國の前途を危むものあり、歐米人の如きは、我民國を國際統治の管理に置かんとする內心を懷くものあるも、這は彼等が表面先進文明國を裝ひ、裏面に橫暴と強者の權力を以て我に迫り、所謂弱肉強食の思想に支配せらるゝに外ならず。而も是れ世界各國の前身の歷史を知らざるに基因する眼前皮相の見といはざるべからず。卽ち世界中いづれの邦と雖も、其の國體又は政體改造の當初、十年乃至二十年間は、許多の波瀾、許多の動搖不定の狀態を反復し、然る後に國礎漸く定まり、以て今日の強大を實現したるものならずばあらず。英米然り、佛伊然り、日本亦然り、我が中華民國も亦恐らく世界の新潮流の定まると共に、國民の思想も一に歸し、今日の內憂外患を歷史上の殷鑑とするに至るべきを信ず云々と。語る所、稍肯綮を得たりといはざるべからず。

顧みるに我が嘉永安政より明治維新の際に至るまで、實に內憂外患並臻の時代なりしも、時の歐米の東亞に對する利害關係は、今日の如くしかく密接ならざりしの故を以て、幸ひに支那の現狀に受けつゝある壓迫を被らず、又內政は紊れたるに相違なかりしも、今日の支那の如く、外國借款に依賴して、纔に其日ぐらしの計を爲すの狀態に陷らざりしを以て、此方面よりも外國の干涉を受くることなく、遂に維新の大業を成就したること、今より之を思へば洵に僥倖ともいふべく、亦天佑とも稱すべくして、深く幸福を感ずる所なるが、大陸の國狀を比較するときは、今の支那は嘉永安政の際の日本にして、支那現在の排日騷動なども、亦我が當時の攘夷論に似たるなくんばあらず。下關及び鹿兒島灣の砲擊、對馬の一時的占領の如き、之を支那各地の永久租借の結果を得たるに比較すべくもあらずと雖も、其形に於て類似したるなしともいふべからず。唯夫れ我は世界的に覺醒せること案外に早く、昨日の攘夷論は、今日の開國進取論に激變し、國內亦急速に統一せられたるを以て、支那の現狀に甞めつゝある辛苦を味はずに濟みたりしなり。知らず支那は果して我が日本の迹を追ふを得べきや如何。

神仙爐

猿丸太夫（四）

劍花坊

猿丸太夫を、元慶頃の人であるとしたのは三十六人歌仙傳と、大日本人名辭書と同一だ、否辭書の記事は歌仙傳から取つたのだらう、併し乍ら人名辭書は、流石に後に出來た書物だけに、兩方とも揭げて、疑ひを附してゐる。

或は云ふ、廐戶皇子の子、山背大兄王の第三子弓削王の別名なりと、蓋し萬葉集に、弓削王の詠中、猿丸の歌を列記するが故ならん

いづれにせよ、猿丸太夫が、ハツキリしない人間だ、こいふことは確かだ、しかし其詠んでる歌を見ると、どうしても奈良朝時代の歌ではない、ごちらかと云へば平安朝時代の歌人の歌だ、卽ち萬葉風の歌人といふよりも、古今風の歌人である、もつとも萬葉でも山部赤人其他の歌には、古今集にもありさうなのもあるから、一概にはいへないが、時代が其歌風に及ぼす者とすれば、猿丸太夫は萬葉後の歌人らしい。

●お斷り　本欄は誤つて前欄と前後せしに付讀み直しを乞ふ

生別死別

服部硯

≡（不許無斷興行）≡

第九〇　連鎖

井上は猶豫もなく答へた。

『私の如き未だ一介の書生に等しき、況んや一巡査の子が貴郎のやうな御身分の人と婚約を結ぶと云ふ事は思ひもよりません、不釣合は將來相互の不幸を釀す基です』

『君が本人に不服なら強ひては申しません』

『御本人に對しては不服はありません、第一私は猶當分家計上妻帶を許しませんから』

『成る程今勉强盛りの、加之留學中の君に家庭を作るのは許さんかも知れん、今直ぐ彼女を引取つて下さいと云ふのではありません、約束だけして置けば君の都合の良い時期まで僕が世話をします』

『御親切は有難う御座います斯うなれば何も彼もお話しますが巡査の子として大學迄這入るには、そこに一の事由があります、巡査の子が大學に入れないと云ふ規則もありませんが、夫れ程の學資を續けらるゝ身分であれば何も巡査をしなくとも宜しう御座いませう、私が今日迄の學費は、藩滯主の出資を甚させる敎育會の補助を受けたので、卒業後それが返濟の義務を負て居るやうな始末なのです』

『すると妻帶を許さぬ事由は夫丈けなんですね』

『さうです、茲二三年、私が斯うして留學してゐますれば或ひは四五年は已むを得ません』

『宜しい』二三年は云ふ迄もなく十年でも待ちますがごうです君と僕とは此場限りの關係ではないのですから、三浦一家を蹂躙しても切るに切られぬ間柄ですから。後に感情の行違ひを殘さん事にしたい。併し彼女も僕から見て大した缺點がないにしても、他から見てはごうかも分らない、卽答を促すのは僕が無理でせう、君も彼女を審察し且熟考して返答して下さい』

『私は熟考する迄もありません。御令妹に對し何等不足はありません。寧ろ私の分には過ぎて居ります、併し私の事情の許すまでお待たせ申しましてはお氣の毒ではあり、且一巡査の子に御本人が御承諾になるか否もありますまい』

『君は能く巡査の子と云はれるが、巡査がそれ程卑しむべきものですか、人格は職業に依つて別のあるものではありません、職には高位顯官にありながら品劣等な者もあれば、天秤棒を擔いでゐても高潔な人も居る、幸不幸の別る所は職業の如何には係らない、家に巨萬の富を有し、位人臣を極めてゐても、外に體裁を衒へ、家に在つては猜疑嫉妬の爲に人情相背きつゝある例は幾らもあります、職業に依つて人格が左右せらるものではないぢやありませんか、殊に君は今一巡査の子ではありません、最高學府の敎官である。生計に汲々としてゐたら、研究に心を專らにする事は出來ますまい』

砥上は茲まで云つて突然言葉を切つて何か考へた。稍あつて砥上は言葉を繼いだ

『君！、斯うしやうぢやありませんか、僕は君に十萬圓を提供しませう、さうしたら敎育會に返濟も出來ませう、父も養はれませう、妻も持たれませう、研究にも沒頭されませう、今妻を迎へて邪魔なら僕が預かつて置きませう』

『御好意は誠に感謝致しますが併しですね、私は妻の持參金で勉强したくはありません、敎育會から受けた補助、それは學資を返濟すれば義務も濟みますが、固より感じない譯ではありませんが面目が立ちます、併し妻の持參金で勉强しては成業の後々までも義務を果すの途無く、世間に對しても肩身が狹くなります、私は斯くの如く生きて斯くの如く死ぬるのが私の定まつた天命と諦めて居ります』

『いや君の御心は能く了解しました、男子須らく此の意氣でありたい、立派なお覺悟ですが、併しですね君』

砥上は云ひかけて殘り少の珈琲皿を遠けた。

小說豫告

『妻となりて』

布施生譯

娘時代は只美しくあどけない程にばかり何處やら便りない程に思はれたお孃樣が一旦人の妻となるや見かはすばかり確乎した女となる。英國婦女流作者の原作、作者も書物も餘り名高いものではないが何となく捨て難い處があります。お馴染の譯者が書き柔げて『生別死別』の九十二回にて完結後から連載します。御愛讀を願ひます。

定價 一部金五錢▲壹ヶ月郵稅共金八拾五錢▲三ヶ月同二圓▲六ヶ月同六圓五十錢▲
廣告料 一行一圓十錢 四號二十五字詰 二號七字詰
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介
電話番號長六千九番 振替京城三〇〇番

出た出た 二月號
少年少女 譚海 タンカイ
東京市本石町 博文館 振替東京二四〇番

大評判の 新雜誌
佛佐吉先生…露亭
寺內元帥の幼時…五郎
ガリバー譚…鳴秋
袖萩とお君…億吉
義經物語…小波
間十次郎…曉紅
極彩色石版口繪九枚
口紅椿の內侍 弘城
口底ぬけ風呂 露猫
口トムサム譚 小舟
口夢の聖德太子 雨村
口鼻と智惠袋 みのる
口湖畔の少女 繁雄
定價拾五錢 郵稅一錢

少年世界
ステキニ 面白い
清源様のお狐さん…淸夫
琵琶法師と泥棒…晚紅
小說 少年 一寿三本…小波
少年講談 一妙鷹…野風
少年物語 いたづら者…正夫
紙上遊戯 マラソン競走 巫三
口無鐵砲な英夫 鐵一
口(小說)崖の上から 若味
口(童話)坊ちやん
口(小說)次男坊 鳴秋
廿五錢 郵稅一錢

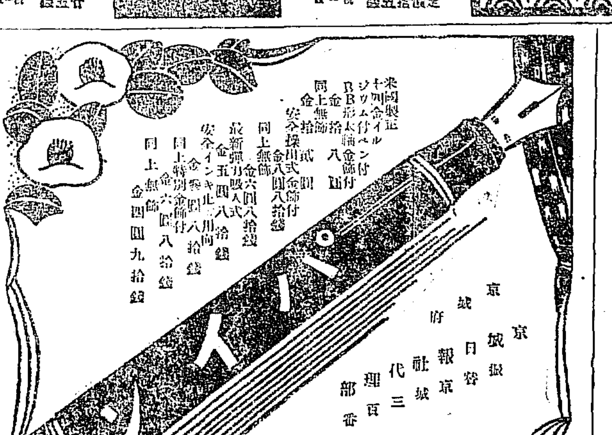
少女世界
飛ぶやうに 賣れる
色刷口繪
火鉢の傍…ズツク
王城の春
お星さま…の袋
誕生日…
雪の日の出來事
私も買ひに
お母様を迎へに
おてんば姉妹……
燈ちやんの眼……
廿五錢 郵稅一錢

幼年世界
スグレテ 面白い
新案切拔 鶯のご馳走 春樹
幼女遊び 椿の花輪
小說偉人 御褒美の犬ころ
小波お伽 爪の梅
口(繪噺)ちんころ 春樹
口孝女ボヒー 健吉
口(小說)空に浮く城 秋生
口(小唄)雪や氷 露猫
口(手工)切拔紋
二十錢 郵稅一錢

幼年畫報
コレモ又 面白い
新案双六 福八內・鬼八外
大正子供東海道圖繪 伊勢大神宮
ウグヒスサン
木ノ兵隊サン
口(小波お伽)犬トサル 小波
口ハイカラキツネ
口カハリ繪 敏行
口鶯ト風ノ神
二十錢 郵稅五厘

各種中等學校入學受驗準備の唯一顧問
受驗と復習
二月號 改正定價 一冊廿六錢(郵共)
半ヶ年分前金 一圓四十三錢
一ヶ年分前金 二圓八十二錢
小學校高等女學校男女私立中等學校の入學試驗は愈目前に迫れり！本誌は受驗準備の最も確實なる指導者なり
二月號せられる本誌一月號は品切れよ
愈々出來
發行所 東京牛込區矢來町四番地 振替口座東京七五七番 南光社

値上廣告
物價日々騰貴の爲め不止得製品其他爾後參割方値上仕候間此段謹告候也
一月十七日
京龍鐵工業組合



生徒募集
京城醫學專門學校
出願期限 一月末日

あつ當つた…と云ふ刹那の喜び？
大抽籤愈々迫る（一月七十四日）!!!
壹萬圓付 五通組 百圓
八千圓付 四通組 六十圓
六千圓付 三通組 卅五圓
四千圓付 二通組 廿一圓
二千圓付 一通賣 十圓
新券組賣
割引 同時御注文は貳百圓、三百圓
代金引換郵便
東京神田淡路町二ノ四 大塚合名會社

大歡迎忽再版
實用作文法講義錄
全一冊壹圓廿錢
日本青年通信社出版部

滿洲安東縣江岸通一丁目
安部油房製品一手販賣 豆粕豆油雜穀取扱
日陞公司
豆粕豆油製造業 合資會社 安部油房 有代表者 金井佐次

增刊
日本書畫人名辭書
東京神田錦町一ノ十 松山堂書店

最新刊
股野藍田先生題辭 田中蘇璋先生題書 桂湖村閲
池上秀畝先生題畫 中村不折先生題書 大西林五郎編
支那書畫人名辭書
定價金四圓
京城本町二丁目 大阪屋號書店

大歡迎 五版出來
伊國陸軍大佐 世界的文豪 ダヌンチヨ氏著 矢口達氏譯
巖の處女
新陽堂

福田醫學士著
萬人の必讀書
妊娠より育兒まで
十四版!!!
何うすれば妊娠するか!!! 安全に生れるか!!! 良く子が育つか

東亞に最善の
煙草あり
其の名は即ち
スピーヤ
已に批評は
盡きたり
悉く驚嘆の
聲となれり
定價 金拾貳錢
東亞煙草株式會社

山東問題交渉
支那態度如何
愈本舞臺に入る
頑然として應ぜずば現狀維持の外無からん

講和條約は十四箇國の批准調印に依り本月十日より効力を發生することゝなりたる結果我國は講和條約第百五十六條第百五十七條第百五十八條の規定に基づき山東省に於て從來獨逸の有せる利權全部を繼承することゝなりたるを以て日支協定に基づき同省の利權を支那に還附すべく兩國間に交渉を開始する必要を生じたるを以て十四日帝國政府は小幡駐支公使に訓電を發し右山東利權繼承を支那政府に通告すると同時に青島の軍政を撤廢して民政となし且つ何時にても山東を還附するの準備を整へたるを以て日支兩國は是れが交渉を開始すべく其時日及び交渉地點の決定を爲すべき旨通牒の手續を取りたり是れに對し支那政府が如何なる態度に出づべきか新總理を始め支那政府當路者は即時交渉開始の希望を有しゐれるもの、如くなるも南方派を始めとし國民の多數は今尙ほ米國の態度に依賴して國際聯盟に依りて解決せんとの意向を抱き盛んに排日運動に狂奔しつゝある有樣なれば果して我國の通告に應じて交渉を開始すべきや否や逆賭し能はざるも若し支那政府が是れに應ぜざるに於ては我國は止むなく山東に關して現狀を維持するの外なかるべしと(東京電報)

山東直接不交渉
段祺瑞氏直接交渉意見 陸使節の歸國を俟ちて

段祺瑞氏は山東問題に就き日本と直接交渉すべき意見を主張し居れるも陳外交次長は陸徵祥氏の歸國を待ちて同問題を決し度しと言ひ居れり又北京政府は山東問題を國際聯盟に提出し日本と直接交渉することなく陸氏の歸國を俟ちて之を處置す可しと言へり(國際通信＝上海電報)

青島回收意見徵收
廣東軍政府の聯盟提出準備

廣東軍政府は青島を回收するに就ての意見を徵し國際聯盟に提出すべき準備を爲し居れり(國際通信＝上海電報)

山東通牒拒絶聲明
上海全國學生聯合會總會通電

山東問題に關し上海の全國學生聯合會總會は日本より山東に於ける獨逸の權利繼承の通牒來るも之を拒絶し決議す可からざる旨を聲明し政府を監督すと各地に通電せり(國際通信＝上海電報)

米兵撤退理由

米國政府はチエック軍援助の理由は最近に於て消滅したるも在西伯利露國民保護を目的とし米兵を依然殘留せしむる方針なりしが如きも米國にては駐屯兵の交代募集に應募者甚だ少く且つ國內の輿論は漸次引揚に傾き過般來十萬人の連署にて撤兵請願あり議會にては共和黨は西伯利撤兵の決議を提出する等國論沸騰の傾向を示し上院亦駐屯兵を殘留せしむるに反對したる爲め此機會に全部撤兵に決したるなりと(華盛頓電報)

聯盟開催召集狀

前獨帝引渡要求

聯合國が引渡しを要求せる戰爭犯罪人の數は最近改訂され千二百名より二百名に減ぜられたるが前皇太子ケイ[illegible]

孫氏總裁辭職

[illegible]定なり(北京電報)

顧代表指令を仰ぐ
聯盟會議に出席せよとの電命

在巴里支那代表顧維均氏は北京政府に打電して曰く『十日獨逸講和條約調印履行の際和平會議書記長より右の旨通告ありしも余は我國が署名を拒みたる爲め列席するに便ならず病に籍口して列せず如何の方針を執る可きか指令あり度し』之に對し北京政府は國際聯盟會議に列席す可しと電報せり(國際通信＝上海電報)

獨逸刻下の急務
工業生產恢復

エベルト氏は首相其他各大臣參列の上コロンに於ける獨逸工業協會委員を接見したるが其の際告げて曰く獨逸刻下の緊要任務は工業上の生產を恢復し且つ發達せしむるにあり而して右は製造業者の自由活動のみに依りて之が目的を達するを得ず勞働者の服務に忠實なるに俟つ所多し理由無くして之を拒まば政府は之を抑壓す可し政府は生產者と消費者の需要を調節すべく準備せり(伯林電報)

獨逸俘虜特赦

對獨講和條約批准と共に十日附を以て獨逸俘虜六名に對し特赦の恩命ありたり(東京特電)

補充兵派遣理由
對米通牒決定

西伯利補充兵派遣に關する帝國政府の方針決定したるを以て之を米國政府に提案するの必要あり十四日開會の臨時閣議に於て通牒文案に就き協議の結果『チエック援助に關する目的は米國政府の聲明せるが如く略ぼ成せられたるも我國は地理上全く其立場を異にす即ち過激派が決河の勢を以て進出し來るに於ては東洋の平和は爲めに破壞せらる、は勿論延いては我國の存立上にも一大脅威を感ずることゝなるべく殊に西伯利各地には邦人の在留するもの少からず彼等は過激派の爲めに生命財產上の危險に遭遇したること一再に止まらざるを以て我國としては十分保護に任ずるの必要あり又一方西伯利鐵道に對し此際關係各國が其監視を拋棄せんか同鐵道は全く運輸の自由を失ひ物資供給其他に關する西伯利住民の困憊想像に餘りあるを以て我國としては右兩樣の理由に依り當分現狀維持に合せて保護防備の完全を期するの必要上約五千の補充兵を派遣するに決したり』との通牒を發するに決したるを以て直ちに外務省より幣原駐米大使に訓電し米國々務省に之を通達せしむる一方內田外相より米國大使モーリス氏に其旨通告し尙ほ英佛伊支等の各關係國にも夫々通告する事に至るべしと(東京電報)

對西根本方針如何
廟議現狀變更必要

西伯利補充兵派遣に就ては一切の手續を完了し殘る問題は根本方針の如何のみ廟議は現狀を變更せざるべからざる必要を認め居れるが是れに對しては田中陸相も既に同意を表し居り早晚或る地點迄撤退して守備區域を縮小することゝなるべし而も本問題は固より關係各國とも協調を遂げたる上ならざるべからざるが本問題の解決に先だち米國今回の撤兵の眞意を改めて帝國政府の名を以て聽取するの必要を認め幣原駐米大使に訓電を發したるが是より對西伯利根本方針問題に關し一歩を進むることゝなるべきも該問題は最も愼重なる態度を要するや言を俟たざるを以て是れが解決迄には相當の日子を要すべしと(東京電報)

派遣軍守備區域
二月上旬守備の任に當らん

十四日參謀本部より高田師團司令部に出征命令下り十五日拂曉松本及び高田出發敦賀經由浦鹽を經て二月五六日頃夫れ〴〵守備區域に著く事となる可し該派遣軍守備區域は大體ハバロフスク方面なる可く出動部隊は高田師團殘留部隊の殆ど總てにて平時編成一箇師團の約七割強なりと(東京特電)

米兵全部撤退期
チ軍引揚の如何に不拘撤退か

西伯利米兵撤退に就ては我が政府には一月十一日より向ふ一箇月間に全部引揚を了すべしとの報告ありたる如くなるも最近華盛頓よりはチエック軍全部引揚後撤退に着手す可しとの情報あり若し之を事實とせばチエック軍總數七萬の撤退には數箇月を要すべく自然米兵の撤退後數箇月後なる可しと解せらるされど實際はチエック軍撤退の如何に關せず二月十日より撤退を開始するが事實なるべしと(東京特電)

別報 華盛頓來電に曰く在西伯利米軍總員八千名は西伯利鐵道及び東西伯利に於ける忠良なる露國人の保護を日本に托し二月央後間も無く本國に向け出發す可く米國鐵道員は夫以前に西伯利を引揚ぐ可し(國際通信＝米國電報)

過激討伐權附與

フオッシュ元帥は露國過激派討伐軍司令權を附與さる可しと(倫敦電報)

共和政府組織計畫
在西伯利米國代表團決議

浦鹽駐劄支那領事よりの來電に依れば米國の西伯利代表團密議の結果スチーブンス氏を初め次いでホルワット、ロマノフ氏等を懲へし浦鹽に共和黨政府組織を慫慂せんことを決議せり(北京電報)

伊太利管理脫退

伊太利は今般西伯利鐵道、東清鐵道共同管理より脫退する旨其筋へ通知せりと(哈爾賓電報)

煙酒米人傭聘問題
米資本團不承諾＝行悩の狀態

煙酒借款に關し米人を煙酒總辨顧問に傭聘の件に就きては各方面の反對に依り支那政府は既記の如く關係者を通じ日本米國及び資本團側に變更を申し込みつゝあるが米國公使館側にては其要求を是認し居るも資本團側にて聞き容れざる爲め行悩みの狀態に在り支那政府は若し此際他に代るべき借款成立せば煙酒借款の如きは拋棄するも可なりとの意を漏らせりと(北京電報)

兩派軋轢濃厚
安福派靳內閣破壞運動著手

段祺瑞、徐樹錚、張敬堯氏等安福俱樂部を含む段派と徐世昌、靳雲鵬、張作霖氏等の徐世昌派との軋轢漸次表面に現はれ來り馮國璋一派は徐世昌派に接近せんとしつゝあり尙段祺瑞氏と靳雲鵬氏とが施政方針に意見合ざるは段馮兩派之を認め又安福派は靳總理が北京各學校の職員に停教育次長免職を條件として復職を爲さしめたるは不服なりとて靳內閣破壞運動に著手せり(北京特電)

勅使御使內定
故李太王殿下御一周年祭

來る二十一日李太王殿下の御一週年祭は特に東京より勅使御使び等差遣せられず京城高官中に任選すべき旨宮內省より通牒に接したる爲め總督府に於て人選中の處左の如く內定したり尙同祭典は純朝鮮の古式に依る事と爲りし由にて當日の獻香は勅使、梨本宮御使ひ十二宮總代、王世子殿下御使ひ總督勅任官總代、奏任官總代等の順序に依ることなりと

- 勅使 持地遞信局長
- 梨本宮御使 赤池警務局長
- 十二宮總代 西村殖產局長
- 王世子御使 柴田學務局長
- 勅任官總代 青木庶務部長
- 奏任官總代 弓削學務課長

綿布好勢
辻三井店長談

昨年來不勢を續けたる綿布は新春と共に好勢反騰の商狀となり最近安値に比し昨今の相場は三A一梱三十五六圓の値上りとなりたるが右に就き辻三井物產支店長は曰く綿布昂騰の原因は大勢として供給の不足を擧げざるべからず而して其の近因を見るに(一)ボンベイ紡績の罷業に基く生產減(二)內地各紡績會社なども工場の流行感冒に犯されその操短を餘儀なくしつゝある事(三)南洋方面に於ける日本品の需要增加(四)內地の金融緩漫なりし事も越年後案外引緩み一般に安心を與へた事(五)株式の暴騰生絲の新高値突進等の刺戟を擧げざるべからず更に目先は生產激增の見込をなし得ず又財界好況を持續くべしとせばその低落は當分望まれざらん尤も輸入金巾の如きは京仁の在荷豐富にして之れ等居れるもこれらは比較的に入超大阪相場に比し幾分安値を示し居れ要は各地に喚起し來らば當然に回復するならんと云ふ

客月貿易
輸移出入增加 內地財界影響

客月朝鮮貿易は輸移出三千百九十八萬餘圓輸移入二千八百八萬餘圓合計六千六萬餘圓にして前年同月に比し輸移出七百三十萬餘圓輸移入八百二十萬餘圓合計一千五百五十一萬餘圓を增加せり而して一月以降累計額は輸移出二億二千百八十九萬餘圓輸移入二億八千三百九萬餘圓合計五億四百九十九萬餘圓にして之を

前年に比較 するときは輸移出六千五百九十九萬餘圓輸移入一億二千二百六十七萬餘圓合計一億八千八百六十六萬餘圓を增進し貿易の權衡は六千百十九萬餘圓の輸移入超過を計上せり次に其の內容に就き前月と對比するに輸移出に於て米は引續き滯貨の爲め出廻り捗々しからず數量幾分の減少を見しも價額に於て增加し大豆は滿洲產の硬調に連れ移出益々活況を呈し棉花は本年の增產に基づき牛皮も亦近來內地需要の復活に伴ひ共に出荷旺盛を告げたるのみならず其他魚類生絲鐵鑛に眇からざる躍進を示し之に反し減少の著しきは大豆以外の豆類石炭及び鐵類等なり又輸移入にありては在荷潤澤並に事業界の一段落に依り金屬類鐵類及び諸器械等に減退を告げたりと雖も引締き綿絲布を初め粟砂糖石油及石炭等に

多大の增加 を示せり更に全年の貿易に就き觀察するに休戰後一頓挫を來せし以來鐵產品の出荷は概して不振を免れざりしと雖も一時不安に襲はれし內地財界の復活と共に米大豆魚類等の食料品棉花、生絲、牛皮等原料品の需要を喚起し加ふるに相場の好調補腹の緩和及び內地の增產等の事情相呼應して輸移出貿易を促進せしのみならず一面輸移入貿易に於ては鐵類器械等事業材料の一部減少を告げしも近年打續ける輸移入の好況及び各種事業の發展に伴ひ一般購買力を刺戟し粟小麥粉砂糖等の食料品を初め綿絲綿布石油木材等各種生產品の如く何れも著しく增進し結局前年に比し多大の增加を示すに至れり而して輸移出入重要品を示せば左の如し

輸移出重要品 ▲米一千三百二十六萬餘圓▲大豆三百七十六萬餘圓▲魚類百七十萬餘圓▲人蔘二百二十八萬餘圓▲生絲三十四萬餘圓▲鐵鑛三十萬餘圓▲牛[illegible]▲石炭二百七十萬餘圓▲銑及軟鋼三十萬餘圓▲銅六十七萬餘圓▲皮革製品五十二萬餘圓▲棉花六十九萬餘圓▲煙草六十七萬餘圓▲肥料四十二萬餘圓▲其他三百八十九萬餘圓

輸移入重要品 ▲粟七十萬餘圓▲小麥粉二十四萬餘圓▲砂糖五十七萬餘圓▲清酒四十萬餘圓▲石油八十三萬餘圓▲綿絲六十萬餘圓▲打綿四十八萬餘圓▲生金巾及晒シーチング四百六十五萬餘圓▲金巾及晒シーチング百二十二萬餘圓▲日本木綿七十一萬餘圓▲洋紙二十萬餘圓▲諸機械六十七萬餘圓▲石炭二百三萬餘圓▲小包郵便百六十四萬餘圓▲其他九百九十五萬餘圓

鐵道初期補給

新設鐵道會社中金剛山鐵道並に咸鏡鐵道は客臘成立し咸鏡鐵道は本月下旬に朝鮮森林鐵道、朝鮮興業鐵道は二月上旬に成立の運びに至るべきが何れもその第一期の決算締切は三月三十一日となす事となり居れるにつき早くも各鐵道とも第一期決算に對する總督府の補給如何を問題とし居れるが八年度に於ける總督府の豫算會社補給は總督の命令によつて決定すべき者にて今期議會に提出さる、輕便補給案が建設費を基準とするか鐵道部資金の拂込に標算を置くか八朱か七朱かには必ずしも多く關興せず一に總督の意向と豫算との關係にて決定する譯なるもさりとて中央鐵道並に全北輕鐵が對拂込資本に補給年八朱を交附さる、とて新設の會社も同樣均霑するや否やは疑問なり西鮮鐵道並に金剛山鐵道にてはその本年度補給指令の交附を當局に求めつゝあるも何等の指示なく又鐵道補給なれども未だ府議の決定を見ざるより一期配當八朱の期待は諸種の關係上之をなし得ざるべしと

地方自治制審議
總督宣言の一部實行

總督府にては十六日午前十時より齋藤總督統裁の下に局長定例會議を開き席上大塚內務部長より總督宣言の一部として實行すべく立案せられたる地方自治制案に關し說明の上審議したるが決定に至らず當日は審議として散會せり而して同案を法制局に回送し成立する迄には少からざる日子を要すべし同案の概要は從來の道郡島面の參事三名宛を約二三十名に增員し又府の協議員に改正を加へ地方自治上の諸問機關とする者にて既に豫算には二十六萬三千餘圓を計上しあり其成立を待ち大正九年度即ち四月以後に實施し度き希望なるも愈々其人選を了し實現するは本年秋以後となるべく其人選方法に就きても專ら官選とするや將た民選とするや等も今後の審議に於いて決定するに至るべし

新二航路
仁川芝罘線の延長と江原道各港の新航路

仁川にては既に[illegible]しつゝある仁川、芝罘間の航路を鎭南浦港迄延長するの計畫あり之れが補助額を來年度豫算に計上したるが之れが實施の曉は新義州よりは魚類等を南支那各地に搬出し對支貿易に大なる伸張を與ふるに至るべく又從來江原道の各港は比較的航運に薄くして雄基門司線の甲乙二線が交々寄港しつゝあるが如きも種々の不利不便を來しつゝある運の便宜を圖る爲め釜山元山間に一航路を新設し朝郵船をして月六回以上各港に寄港せしむることゝなし之れが補助額も亦九年度豫算に計上したりと

商議評議員會
美濃部會頭挨拶

京城商業會議所にては十六日午後二時半より評議員會開催篠崎、佐野、志岐、松本、金東、段の五氏を除き其他各員出席美濃部會頭の左の就任の挨拶あり

今回不才を以て擢らず會頭の職を瀆したるも固と予は居常多忙加ふるに旅行勝ちなるを以て深く就任を辭退せる次第なるが既に就任を決したる以上極力微力を致さん事を期す

直ちに議事に入り第一號議案定款改正の件を附議し事務所位置の變更、頭事決支出額の增額等に改正を加へ異議なく可決し第二號議案給與規則の改定の件を討議し給與額に就き篠田安之氏より異議の提案あり之に對し韓相龍氏の說明あり起立に問ひて原案多數可決第三號議案事務所建築費借入の件第四號議案退任評議員中表彰の件等を可決し最後に大正九年度豫算案の討議に移れり

幣帛御下賜

二條公爵

鮮鐵運輸狀況

一月上旬中に於ける朝鮮線運輸狀況は當初來の降雪と寒氣嚴烈なりしに依り貨客の輸送捗々しからず就中貨物の出荷は例年閑散季に加ふるに前記天候の障害に依り出荷を阻止せられしこと尠からざりしが之が成績を前年同期に比すれば一日一哩收入に於て九圓三十七錢の增收に當れり其統計左の如し

▲乘車人員 三十五萬二千三百五十四人(前年同期に比し八萬八千二百四十人增)
▲貨物噸數 六萬七百九十五噸(前年同期に比し一千二百二十四噸減)
▲客車收入 三十三萬一千四百五圓(前年同期に比し十萬四千九百八十二圓增)
▲貨車收入 二十三萬一千八百五十四圓(前年同期に比し二萬五千二百三十七圓增)

平壤市民大會

既電の如く十四日正午より平壤座に於て平元鐵道速成及び大同江架橋速成の二問題に對し平壤市民觀陸大會を開き司會者松井商業會議所會頭外數氏の熱心なる演說あり決議文を朗讀し滿場一致を以て可決し午後五時閉會せるが會衆五百有餘名に達し頗る盛會なりし(平壤)

定例局部長會議

十六日午前十時より總督府第一會議室に定例局部長會議を開き齋藤總督を始め各局部長並に所屬官署長參集諸般政務に就き協議する處ありたり

移民承認通知 東洋拓殖

東洋拓殖會社京城支店にては審查中なりし第十回移民の承認決定せしにつき近日夫々通知を發する事となれり尙各通知を受けしものは今春渡鮮の都合なり

殖產事務打合 東拓京城

東拓京城支店にては殖產事務打合せの爲め關係出張所の當該主任數名を京城支店に召集し十六十七兩日打合會を開く

朝鮮彙報刷新 總督府

總督府發行の朝鮮彙報は今回大刷新を施すやの計畫ある由にて十七日午後一時本府第一會議室に會を開き內容體裁其他に就き細密協議する由なるが一般廣告等をも掲載し得る樣にし民間の者と角逐し得るやう改善する方針なりと

米商組合總會 京城米

京城米穀商組合にては大正八年度の決算其他に就き十六日午後五時よりファミリーホテルに役員會を開催すべく尙ほ二十日同組合の總會を開催する豫定なりと

京仁線强行軍 步兵第

步兵第七十八聯隊第一大隊は宮原少佐指揮の下に十六日拂曉營門出發京仁線官牛附近に一泊强行軍を實施したるが十七日歸營すべしと

坂西少將動靜

北京公使附坂西少將は歸任の途十五日朝來城京城ホテルに少憩の後總督總監を訪問し午後宇都宮大將を軍司令官官邸に訪問歡談に時を移し同夜發列車にて北京に向へり

脫漏電報追補 十五日

附二面欄『撤兵見合せ』と題する東電中五十字脫漏ありしが其の後左の如く追送し來れるを以て茲に揭ぐ

(前文)閣和の意見に『反對し終に根本政策は撤兵に決定せるがチエック軍既に歸還に決』(後文)せるを以て云々

鮮銀券月報

十四日現在左の如し

發行高	一五〇、六九六、四一一圓
正貨準備	五〇、八五四、一六九
限外發行	四九、八四二、二四二

加藤社長歸城

去六日出發東上せる本社々長加藤房藏氏は十六日夜南大門驛著列車にて歸城す

新設會社

▲釀造會社 京城住李[illegible]外他九名は燒酎醬油釀造を目的とする資本金三十萬圓の朝鮮釀造株式會社設立を出願せり

▲製皮會社 大正七年十一月二十二日附許可の指令を與へられたる朝鮮製皮合名會社資本金二十萬圓は到底設立見込なきこと判明せるを以て許可を取消されたり

▲旭開拓會社 忠南大田郡なる旭開拓株式會社(資本百萬圓)は從來の營業目的以外に今回更に拓殖に關する資金貸付業等をなす事となり右申請中のところ一月九日附許可せられたり

公會私會

▲時事新聞發起會 協成俱樂部閔元植氏派の創刊に係る時事新聞發起會は十八日京城ホテルに於て開かるべく多分二月二十九日王世子御婚儀の發展を期し第一號を發刊す可しと

▲東亞日報の發行期 鮮文新聞東亞日報の發起會は十四日明月館支店にて開かれたるが會議の結果三月一日より發行することとし株式會社組織と爲す可き會社創立の申請は追つて爲す可く第一回拂込資本金二十五萬圓の豫定にて役員は社長朴泳孝、副社長張德秀、編輯監督柳瑾、編輯局長李相協の諸氏に決定せりと

▲鐵工業組合發會式 京龍鐵工業組合にては十六日午後七時より南大門外集會所に於て發會式を舉行したるが出席會員六十名小河原副組合長の開會の辭に次ぎ二宮組合長の式辭朗讀あり後宴會に移り九時半散會

▲牧山氏披露宴 朝鮮新聞社長牧山耕藏氏の朝鮮新聞繼承の披露宴は十五日夕朝鮮ホテルに開かれたるが牧山社長の說明あり之に對し高等法院檢事長の來賓代表謝辭あり次で國分司法部長代表して挨拶あり操り人形數番の餘興あり參會者官民記者團三百餘名盛況なりき

▲柴田局長新年宴 柴田學務局長は十五日午後五時京城ホテルに同局員全部を招待し新年宴會を催したり

人事消息

▲吉田淳二郎氏(日清生命契約課次席) 今回朝鮮支社長に榮轉去る十日着任

▲川江京管局工務課長 京元線降雪被害視察中の處十五日夜歸城

▲安藤京管營業課長 [illegible]の爲め出張中の處十六日全快[illegible]

▲平壤軍高級副官 十六日朝京元線に出張

▲石田氏幹氏(京法官部長) 新義州に出張中の處十六日朝歸城

重要電報 欄外にあり

▲石井虎五郎氏(...) [illegible]令部附より東京經理部長に轉任十六日夜龍山發赴任

▲亜裕根氏(步兵中佐) 富山步兵第六十九聯隊より今回龍山步兵第七十九聯隊附に轉じ十五日著任

▲佐藤師團參謀 設備視察中の處十八日歸城の筈

▲佐藤恒丸博士(軍々醫總監) 龍山に出張中の處十六日朝歸城

▲デビット、バーグストン氏(瑞典公使) 十六日朝釜山上陸十一時京城通過直通列車にて北行(釜山特電)

▲山口總督府法務課長 同上

▲佐藤七太郎氏(慶北第一部長) 十六日朝退城

▲松井民次郎氏(平壤商業會議所會頭) 十五日夜退城

▲松永外事課長 客臘東京に出張中の處十四日歸任の豫定なりしが用務の都合上尙十七日間延期すべし

▲篠田平南道知事 十六日朝入城西五日滯在すべし

▲安井咸吉氏(大日本麥酒京城出張所長) 社用にて十六日夜南大門發列車にて釜山へ

▲赤池警務局長 本朝來引續[illegible]

寸塵

批准交換完了で紙上の平和、去勢された國際聯盟も目出度く成立した▲人類を以て罪の子、僞善の塊とせば今度の平和條約程大規模の僞善を象徴するものはあるまい▲全智全能の神は人類に對して階級鬪爭てふ第二戰爭を命じ給へるにあらずや▲正直なる日本國民は今次の平和克復を機會として世界の實相に開眼するを要する▲偉大なる新人の出よとの絕叫は此際何人も希望する所であらうが▲舶來翻譯の歐米心醉者が無闇に新人振つて[illegible]氣焰を上るのには眞平御免を蒙らざるを得ない▲國民の要望する處は新理想を咀嚼し善用する事に於て充分の理解を有する人物を歡迎する▲其意味に於ては見渡す處何と云つても維新の大業に參與した人々の方が自分で新しがる近頃の若い者よりも數等上な處がある▲若い時から山縣公などは軍事外交政治經濟等一切の新知識を吸收され而も其善用に關する熱心さと云つたら何人も此の右に出るものは無からう▲其は公が眞正のステーツマンで國家を思はるゝ一念から自己を空うして居らるゝ結果で▲此點に於ては近來の[illegible]

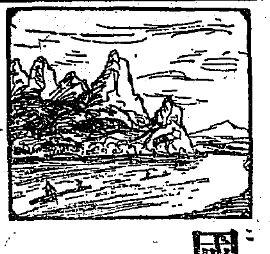
天氣 晴

安藤の逆襲を受けたる第十六回の記念日に相當するを以て在郷……る佐々大尉の歐洲戰爭に關する講演あり終りて祝盃を擧げたり……歐人……而て午後六時より公……

○商務會の招宴　營口商務會は十三日午後六時より席を東公所に設け重なる日本官民及支那官……

……りたる測候所の談によれば前々日青島の西に在りたる低氣壓は漸次東に進み前日黄海の中部へ……て家を飜かし沙塵を卷き往來の人も車も吹飛ばされん許りなりき然し高氣壓は比較的猛烈なら……

……を持するに至らずこ雖も聊か本問題に就き抱有せる卑見を開陳し以て本問題を論議せんこす同憂の士の參考に資せんこす



國境横斷旅行（九三）

鴨綠江を下りつゝ

電報の艶書交換と無茶に忙しい郵便局　間島人蔘と支那貨幣

入口一千一百の中江鎭　鴨綠江岸で一番古い街

中江鎭にて　特派員　伊藤韓堂

中江鎭は鴨綠江中流に於ける大市街で惠山鎭、新義州間に於いて一番古く且名前の聞ねた街である。八年六月末現在の内地人は

戸數八十九戸

で人口三百二十一名、朝鮮人戸數百四十二戸、七百六十三名、支那人三戸十一名、總計二百三十四戸、一千九十三名である。之を新乫坡鎭に較べると内地人に於いて九十五名、朝鮮人に於いて三百五十七名、支那人に於いて六十名、總計に於いて七百十四名程少いやうだ。市街も新乫坡鎭程の活氣がなくごなく落ち著いた靜かな處だ。併しながら中流に於ける唯一の邑であるだけに營林廠支廠、測候所、憲兵分隊、警察署、郵便局、尋常小學校、普通學校等があり營林廠の流筏事業と

對岸帽兒山と

の商取引に依つて商業も可成り盛んである。營林廠支廠の所管林野は約五十萬町歩で大正八年度に於ける直營事業としては一百三十町歩に造林を爲したるご三十八萬六千圓を投じて十萬五千尺〆の伐木運材を爲したるご編流筏に五萬七千餘圓を投じて五萬六千尺〆の木材を下流へ流下したのご、上流よりの流筏木材二十二萬一千餘尺〆を引繼いで下流へ流下したる事等である。叉販賣用叉は

自家用建築材

薪炭伐等を併せ八萬六千圓を以て十一萬尺〆を拂下げた事等である。對岸この貿易は輸出は雜貨類の供給で帽兒山の支那人雜貨店を覗くご特殊のものを除く外悉く日本品で是等商品は、安東縣新義州方面から來るものご滿鮮方面から來るものご相錯綜してをるやうだ。輸入は粟、支那酒等が主なもので間島人蔘の如きも可成の額に達するさうである。間島蔘は帽兒山から上市から臨江縣、長白縣方面の耕作物が指集散するので鮮内地から

各地の人蔘屋

が蝟集して買出しをしてをる、商人を調ぶるご第一が開城人蔘の本場たる開城の商人、次は奉化慶北等の人蔘集散地たる大邱の商人、次ぎは曲蔘の名所たる全北錦山の商人等が多數を占めてをる中江鎭の洞口の合番街ごいふ大家主は……に成るこ人蔘屋を以て充滿するさうである。是等の商人は利用局より受取後直ちに寄後電報爲替を以て資金を取寄せ

對岸に渡つて

支那貨幣と交換し買出しを爲し支那人は又局に來りて爲替を以て奉天又は安東に送致し、安東奉天よりは之等の金額に該當する支那貨を價格表記郵便を以て送り來り同數萬圓の金は同局を中心として循環するので局は非常に繁忙を來すさうである。局の繁忙は單に之のみに止らず營林廠が架設した一本の電話線は

先づ警備電話

に使用され營林廠用に充てられて後一般公衆用に用ゐらるれ而も電信線のない此地方では電報遞送用にも使はる、のであるが交通不便な處の常こして手紙の代用に電報を使ふので電文も隨つて長文で普通が五十語位づゝつであります叉嬢の戀文の情夫は安東縣や新義州の情婦こ甘つたるい長文の電報艶書を交換するさうで是等の爲郵便局は始終テンテコ舞をして居る局員も常に不足勝で京城より或は惠山鎭より補充を受けて僅に執務してをるが

餘りに忙しい

ので日曜も祭日も休む事が出來ず夜も遲う迄執務せねばならぬいので局員に永勤の意志があつても體が續かぬ來ては出て四時缺員の補充に苦心計りして居るさうである

朝鮮の石炭問題（一）

川崎繁太郎

緒言

らん宜なり日本に於ける有識者にして日本……

石炭問題

石炭饑饉の聲は既に戰時中に起り戰後に至るも絶えずして現今殊に其の大なるを聞く戰時中歐米の既に石炭缺乏の慘苦に惱まされつゝありし際日本は恬こして全くこれを他所に聞き敢て之れが東漸の豫防だも試みざりき果然大正七年末講和締結の頃より餘沫我國に及び炭價の昂騰著しきに至りてさも突發事件かの如く石炭問題を叫び出しぬ戰時中米國の嘗めたる石炭饑饉の悲慘は七年春予之れを世に紹介したり當時米國に於ける石炭缺乏に依りて來るこころを見るに參戰後軍需品と軍隊この大輸送は鐵路を充塞して石炭の輸送を不充分ならしめたるに在り現時に於ては其

事情一變

し全く勞働者の罷業同盟罷工其の主原因となれり翻りて我が邦の炭況を見るに只産炭額の增進は需用の劇增に伴なふ能はざる頗る薄弱なる條件に在りて石炭の缺乏を告げつゝあり但し燃料の如きは需用の旺盛に醉ひて一時に出炭を劇增し於額の過半は之を輸移出しつゝあるに拘らず陸の需要に會し島内自身に於いても石炭の缺乏を叫ぶの變狀を呈しつゝありて往年の米饑石炭饑饉に類するものあり内地に於ける出炭力は今や其の頂點に達せるものこせば此の上同盟罷工等の惹起するあらんか我國石炭饑饉の慘狀は蓋し觀察すべきものあり

石炭問題を論議せるもの少からず然れども何れも産炭未多からざるも埋藏炭量の無盡を以て目せられ隣國支那の炭田を開發し之より安全なる供給を策せよこの前途遼遠思想陳腐なる結論に陥り恰も石炭饑饉は既に一昨年より我邦を襲ひつゝあるを忘れ又現時の石炭饑饉は必ずしも天賦の埋藏炭の多寡に因るにあらずして運炭及び勞働の如何にあるを知らず又は知らざるが如く裝ひつゝあるは奇こせざるを得ず、茲に特に朝鮮のみに就き石炭問題を論議するには我領土の一部こして餘りに一小局部に過ぐるの感なきに非ずこ雖も朝鮮は北に撫順、開平炭を有する滿洲及北支こ接し

南方九州

の炭田を控へ西山東、臺灣、北海道等の産炭地方より海路遠からず而して鮮内消費炭の一部は之等の地方より仰ぎつゝあるものなるを以て朝鮮を中心こしての石炭問題は事體小なりこはいへ範圍廣汎にして輕忽に之を論斷すべからざるものに屬す朝鮮も一昨年末より炭價の不廉こ供給難こを感じ殊に昨年よりの撫順炭の供給制限に依り家庭及工場の受くる苦痛頗る切なるものあり近時官民共に本問題を高調するに至れり予は……

對露貿易狀況

（大正八年十月稿）

日露協會最近の調査に依る昨年十月中對露貿易輸出入狀況を聞くに同月中輸出合計は四百六十六萬三千餘圓にして輸入合計は三十九萬餘圓なり之を九月中輸出入額に比較するに輸出高に於て二百二十七萬圓を增加し輸入額に於て三萬七千餘圓を減少せり輸出品中十萬圓以上の品目數量を上ぐれば左の如し

品目	價格
革	一二二,〇〇〇圓
肌衣	四四三,〇〇〇
靴	一八四,〇〇〇
洋服	二六七,〇〇〇
きもの類	一、一〇六,〇〇〇
紙類	一四〇,〇〇〇
銀箔類	一九〇,〇〇〇
石炭	六五六,〇〇〇
かーぜ繃帶	一九六,〇〇〇
羅紗	一一九,〇〇〇
農具	一二七,〇〇〇

而して輸入品の主なるものは六柳の五萬六千圓等なり

……せり輸入貨物にありては特記すべきものなく只年末に際し小商人の歲暮賣り出しにありては僅……骨用地の分弱氣配の爲め落花生油落花生實業貨牛骨等の船積ありし當行も相當繁忙裡に越年せり

滿洲と郵便貯金

滿洲に於ける郵便貯金は逐年非常な勢ひを以て增加し來れり只爲若干停頓の態ありしも其後漸次回復し殊に本年に入りより非常なる成績を示し來れり今之が數字を見るに八年十二月八日現在預入人員數九萬七千八百五十五名金額四百〇四萬七千四百九十五圓六十三錢なるが本月八日現在は預入人員數十一萬三千八百九十九名金額五百一萬八千七百〇八圓二十七錢即ち預入人員に於て一萬六千四百六十六人金額に於て九十九萬一千二百三十八圓六十錢の增加なりこ（大連）

肉代廿八萬圓

仁川の一ヶ年屠殺高……頭出斤數六十四萬二千四百斤一頭の價格は去年八十圓で前年の十八圓七十錢平均が二十六圓に騰貴し五萬四千六百六十……の人間が一人當り一ヶ年二十七……あつたのが大正八年度は平均百……これが一ヶ年間に於ける仁川及び附近農家の食肉代こするこ三萬……ける統計數要に見るに輸出總額……一千百九十二萬圓に達し製造價千三百九十四萬……一千五萬圓……物興せる蠶業は大正……を增加せり而して更に製品の種類に就き之を觀るに貝殻類は二……くものなり

人口

（大正八年十二月末現在）日本領事館

別	戸	男	女	計
内	四〇七	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鮮	二五六	[illegible]	[illegible]	[illegible]
外	二〇八	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

新聞と雜誌（安東縣）

安東に於ける新聞雜誌界の概況は……日下安東新報一あるも……而して目下安東經濟……新聞の經營を爲すは容易……なりこなし種々批評するものあり……の下に經濟雜誌の……近に至り安東の有力者に依り安東經濟……報の發刊の議進捗しつゝあるも……の如し其の内容に就て多少聞き得たる處あるも時機尚早この……なれば追つて詳細の報道をなすあるべし

京城小學生筆蹟

博愛衆ニ及ボス

日ノマル

勤儉産ヲ修ム　大正九年元旦　河村梧郷

（尋九）右より森下韓一（尋九）西大門小學校　山口朝雄（尋一）河村梧郷（尋四）

靑島客月金融

倫敦銀塊相場は初旬に於て七十二片八分の五なりしも漸次上昇を辿り十七日に於て七十九片八分の一てふ天井相場を報ぜり是は主として印度支那に至る銀産地の不足に加ふるに多額の銀價死藏し居る爲かゝる銀價の暴騰を助長したるものなりこ云ふに至り次に當市場の銀塊相場も之に準じ日本向き爲替相場亦は月初めに於て二百二十八圓なりしが倫敦銀塊相場の上騰に連れ中旬二百三十一圓を唱へしが其の後稍軟化し月末に於て倫敦銀塊相場七十六片四分一日本向き二百十七圓となれり三十日より靑島爲替の爲め通商取引は當地上海電信不通の爲め止むなく又大連よりの銀相場も全く暗黑となり銀行に於ける取引も從つて閑散を告げたり市中相場は二百二十二圓乃至二百二十三圓見當を往來越……

懸賞川柳

剣花坊先生選

● 牛

光化門通り　凡哉

居牛場かりそめならぬ腕を振り
丑の年生れこ云ふ又離縁され
珍客が來て牛鍋は一ツ切れ
牛の角曲つたなりの面を振り
流行唄牛肉五ッ鉢はモー終り
牛尾から振り落された雨漏へ

● 腕力

能扉坊

椀力のおかげに乞食牛て居る
腕力こ口先自慢の江戸ッ子
名物は神戸の牛にこりあはず
昔より女居店に牛野郎

● 世界

日の丸の光の下に世界なり
あふさいくこ三面で世界の戰爭

賦得田家早梅　天來

負郭傍消息。一枝梅先開。寒慄旦化。修竹外。日暖短牆隈。林雲留驪蕩。畢。東郊春事催。麥隴寒香泛。柴扉開考帶蒼苔。收將千頃穀。宜賞百花魁。孫日眞悠矣。嘉年又樂哉。迎新粲降曲。獻壽共傾杯。

同　松岡葦水

雞犬四鄰靜。前村梅已開。横斜臨野碓。的皪傍林隈。疏影掛新月。寒香吹翠苔。東風來更好。經雪淨無埃。

同　笠井破笠

一枝野外早梅花。含笑猶將翠袖遮。獨有清香吹不住。東風先入野人家。

油斷せず

惡性感冒流行時には一刻も早く

今到る處に評判高き……キ丶メ確かな……

かぜねつ婦人冷込藥　守妙

を服用して遂に治療されるが最も安全！

昨年よりも猛烈

本年の惡性感冒は昨年よりも危險性を帶びて居り發病後手當を誤まると肺炎、肋膜炎、腦膜炎等を併發し死亡するものが多いと言ひます斯ふ言ふ場合無暗に下熱劑を用ゐると心臟を害される危險がありますから若し感冒の心地がしたら輕症の中に油斷なく穩かな感冒藥婦人冷込藥『守妙』を服んで養生療法を取るのが一番安全です

中毒作用のない感冒藥

凡そ他の丸藥散藥の多くは危險な副作用の伴ふ藥で出來て居る爲めこれを服むと往々中毒に罹る危險が有りますが是に反して純和漢藥から出來た振り出し藥の『守妙』に限つては、いくら服むでも中毒の危險性がなく、服めば服む程體内を温め健胃、整腸頭痛を鎭靜する等の丸藥散藥類に得られぬ特長ある一番安全な風邪藥です。

守妙はこんな時に服む

△ぞつと惡寒を感じた時　△急に發熱した時
△足腰の冷込を感じた時　△頭痛眩暈逆上する時
△喉咳の出る時　△婦人冷込から起る諸病
△鼻風邪にて水鼻汲出る時
何となく感冒の心地する時には是非

定價　十五錢　三十錢　五十五錢　一圓　二圓

本舗　東京下谷池の端仲町廿七　守田治兵衛　電話下谷四五三九　振替東京二九八五

金圓寶丹あり

ホーカーパット懸賞發表

姉妹化粧料　然も此のお化粧になくてならぬ

色白く美人となる家庭化粧料　ホーカー液　定價小壯五錢中五十錢大一圓

天性の白さを現はす最新流行　ホーカーパット　定價一瓶金三十錢

衣物の襟を汚さぬ純無鉛新發見　ホーカー白粉　定價新式箱入一瓶金二十五錢

水々しい黑髮となる純植物性　ホーカー美髮液　定價小瓶二十五錢大瓶四十五錢

●懸賞發表

『ホーカーパットをお使ひになつて他の化粧料にはない何んと優れた特長を發見されましたか』此題下に入方の愛用者より御應募の結果が驚く程で御聞きしましたところ非常の盛況でした。左に其の當選者を發表すると共に皆樣の御投稿に感謝致します

▽一等（金十圓宛一名）　本田ちよ子

一、他の化粧料は私の樣な油性の肌には上滑りしていけませんがホーカーパットはそんなおそれがなく良くシックリこ合ふこと
一、外出の時なご時間で自分の思ひ通りの美しい優しいお化粧が出來る事
ち確かに一頭地を拔いて居ります

●大阪市東區唐物町二ノ六六　原德次

▽二等（金五圓宛三名）▽東京府下寺島町一〇一　西川ふミ▽宇部郡島市小泉町高橋たもつ▽三重縣度會郡神原村山原　東居由技

▽三等（金二圓宛五人）▽鹿兒島市下荒田技▽東京市京橋區鈴木耕次▽東京府下王子町稻永マサヨ▽島根縣東村市場字代子▽靜岡市岡野きん子

▽四等（ホーカー化粧品詰合一箱宛廿五名）

▽五等（ホーカーパット一ヶ宛五十名）

東京神田和泉橋　本舗　堀越嘉太郎商店　電話神田一四三・一四四・一四五　振替東京一一五六

資本金參百萬圓（明治三十八年設立）

當銀行ハ預金、貸金、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

株式會社　漢城銀行　京城府南大門通二丁目十四番地

長　專務取締役　支配人

支店所在地　水原、平壤、大田、開城、南大門、東京、釜山
出張所所在地　東萊、平壤、和町、西大門

大日本優等清酒　ハクツル

品質純良　衞生無害

攝津御影町　加納合名會社　製造元

京城本町二丁目廿番地　發賣元　前田酒店　電話一三一七番　振替京城二四五番

入院隨意

京城南山町二丁目六番地

片山內科醫院

電話一九五一番　片山信夫

金牌名譽

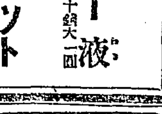
醸造元　日本醬油株式會社　仁川　燒

痔疾專門

京城明治町二丁目（本町より入る中央）

京城久枝肛門病院

電話二一〇二番



GOSPEL　男女強壯劑　ゴスペール

適應症　神經衰弱性陰萎精神的　陰萎衰弱性射精早漏　夢精遺精

發賣元　東京市下谷區長者町　吉田兵藥堂

最新刊

焰の舞
障子の穴
積雪の夜語
俺の自叙傳
蚊とんぼスミス
裏と表
荷風全集（三）
ペルシャ騎馬物語
朝鮮風俗集

大阪屋號書店　京城本町一丁目

にせものゝ沢山出來る事せねばならぬ

百圓懸賞

りん病　ばいどく　請合藥

歐米醫學大博士大學病院

にせものあり　吉田

京城黃金町三丁目電車通　吉田ドラッグ

京城南大門外停車場通　吉田ドラッグ調劑部

藥王なりには……

咸興　平壤　大邱　仁川宮町　元山本町　釜山大廳町　開城南本町　晉州大安洞　大連岩代町

吉田ドラッグ

全鮮の藥店にあり

にせが出來るよ氣をつけよ

首相も內相も同情
『頼む、シツカリ遣れ』
と激勵の辭を齎し朝鮮警官を慰問する川上昌保氏

六千足の靴下と六千帖の半紙を携へて寒氣と物資不足に惱む北鮮方面駐在警官第一回慰問を終りて入城、巳に旅に留中の融和會理事川上昌保氏は語る『融和會の事業の一部として僻陬の地に駐在する

警官慰問 の爲め最初の試みとして今回平安南北道を巡り、官吏諸君を慰問激勵し、旁々融和を說いて歩きましたが趣意は申すまでもなく人民と接觸の多い郡官諸君を訓育し自覺せしめるのが官民一致の捷徑と思ひそれには警官諸君を慰撫後援するのが

先決問題 であらうと我融和會が昨年來內地に於ける總督府官警其の際から種々な方法で實行し來つたのを敢行した次第です、私が今回東京を出發の際にも原首相に面會して其意を述べますと首相は『朝鮮の警務は飽迄も警察官でやらねばならぬ。

不自由勝 ちであらうが官の奮勵を俟つ』と言はれ床次內相も『吾々が大なる同情を持ち且つ信賴して居ると傳へて與れ』と言はれた程で私は其他多數の內地朝野の同情を双肩に荷つて朝鮮警官慰問の途に上つたので水野總監も同感です。

實情を見 聞しますと實際各地を巡回しより以上事情に通ずるものが多く想像以上の困苦を嘗めて居るものが少くありません。靴下と半紙を贈つた譯は半紙をよく揉んで足を包み防寒靴下を穿くと凍傷には可いので思ひついた譯です。今度の行で種々な經驗を得ましたので融和會の事業として

內地へ殘 した警官家族の保護の外新聞雜誌の送附や家族の情況報告等みして上げやうと思ひます。私が今回の渡鮮で最も吾々が斯業上で愉快に感じましたのは平壤鎭南浦大邱三郡で警官合宿所を民間の寄附で建造するやうになつた事です。私の訪ねたのを機として

其議が決 した嬉しさに平壤では融和會から新築費三千圓中へ早速三百圓を寄附しました宿舍の不足には何處でも苦しんで居るやうで郡民には立派な舍宅があるに警官は地方へ行くと四十圓以下では下宿も出來ぬ狀態ですから同情に堪へません云々

朝鮮警官を慰問する　川上昌保氏

白米値上げ
公設市場の相場

公設市場にては白米小賣相場を十四日より一升五十七錢五厘と五厘方の引上を爲したるが目下市中の小賣相場は現金一升五十八錢掛賣は五十九錢にて兩三日中には更に各一錢値上を遂ぐる筈なり、尙公設市場と同一の値段にて販賣し居りし今村米店も一般市中小賣相場と同一率に引上げたり。

路上スケッチ　とみ

降り積む雪は小供と犬共の大歡迎する處となつて至る處スケーチンググラウンドならざるはなく大路小路の別なく滑るわく『今日はお寒ふ御座います、あらあなたあぶないこと』と言ふて居る內にツルリぺたん、處は本町折しも通り掛かつた兒眼鏡の前、店の方をのぞく拍子に中心を失つてツルリベタンコ『あら』と言ふ後の方に二人の男が立話をやつて居る、はげ頭のおやぢがヒヨイと振り向いた處へ女の下駄がコツン

船中の出產
高麗丸に因みて高一と命名

十三日朝下關、港の關釜連絡船高麗丸三等船室愛媛縣伊豫郡原町當時安東縣牛肉商桃井虎吉內緣の妻三好とみか(二五)が航行中俄に產氣づき男兒を分娩したれば高一と命名したるが同乘者の安東縣昆布商小島庄助(六七)はシヤツ一枚となり產婆役をつとめたりと(下關電報)

流感が生んだ悲劇
瀕死の婦人　感心な老婆

長崎縣北松浦郡平戶村大字平戶大久保免八百九十六番地出生京城府八判洞二十番地洪在眸妻石田かん(三九)は五日頃から流行性感冒に罹りハタと求食の道が絶たた元より財產でない又頼るべき人もない彼女は

煎餅蒲團 に病身を包んで呻吟して居たが溫突の冷え行くと共に日々病勢は險惡となり生命も危く見へた其時幸ひにも鐵路署救護班の探知する處となつて九日から施藥往診して居る今の分では身體を移動させる事が可能であるから二三日後の經過を見た上總督府醫院に收容しやうといつて居たが鐵路署でも種々

救濟方法 を講じて居るといふ。彼女には親戚知己もないが此處に最も感ずべきは同家の附近に住んで居る朴氏(六〇)といふ老婆で、かんの發病以來親身も及ばぬ程親切に看護して居るさうで同署係官も朴氏の篤志に感心して居た又救護班から最初往診に行つた時

貧と病苦 に疲れた聲で救命を嘆願したさうで醫師も思はず悲慘な彼の女に對し同情の涙に咽んだ相である

全鮮歌留多大會

本社	一、時日　大正九年一月十八日午前九時より
	一、場所　南山町梅の家
	一、出場者　一流、二流とし各別に競技し全然混合を爲さず
主催	一、會費　各組共金一圓、中食を呈す
	一、入賞　一流　一等より十五等迄　二流　一等より十等迄
	其他　婦人選手の出場を希望し又婦人觀覽席を設くべきに付多數參觀を希望す

京城短歌會

來る二月八日第二日曜を期し京城短歌會を開く、同好の士の參會を歡迎す、當日出席不可能の方は左記兼題と共に住所姓名明記の上御通知ありたし(原稿印刷の都合上寄稿は迅速を尊ぶ)一般に投稿は自由とし兼題は互選の上發表す

△會期　二月十八日正午
△會場　追つて發表
△會費　五十錢
△兼題　『窓』『春』各一首宛

京城日報社內　京城短歌會

2次會

二三日前千代本のあ座敷で西園寺新子さんの不幸のうわさを聞ると仙妙の勇幸『マア可愛さうにあの三越の金網の中にゐる方が失くなられましたか』と愁傷のテイ▲新子さんと三越とドンな關係をもつてゐるのかと客は妙な面をしてゐると傍の老妓が說明した、それは三越の會計に西園寺侯の御親類の人でよく侯に似た店員が居て花柳社會には西園寺さんで通つてゐる▲勇幸は西園寺さんと云へば天下にその三越の人ばかりと思ひ込んでゐるらしく新子夫人のうわさをすぐ三越の西園寺さんに移したのだつた▲新花月の花奴は若い綺麗な方だこつて十七と云ふけれど色氣は薄い方で喰氣とのみ氣―但し紅茶―は濃い▲先日もあるお客さんが朝の急行でたつと云ふので南大門驛に行つたが時間などはお構ひなしに喫茶店で紅茶と菓子をシタヽカ喰つてゐた▲十時半頃になつて『ボーイさん汽車は未だ出ませんか』と聞いたがもう小一時間も前に出たと聞いてシク〳〵泣出し乍ら歸つたこの事

流行性感冒豫防法
一般に心得置く可き事

又外出する場合には必ず『ますけ』(又はれすぴらこる、ますく　呼吸保護器)を用ゆるがよい『ますけ』を用ゆると冷たい外氣に當てても感冒をひくことが少いのみならず之を用ゆる鼻尖の冷たくなるのを防ぐとも出來て用ゐ慣れると却て氣持がよい若し病毒が近邊に集散しても『ますけ』の障壁があるから病毒の侵入を防ぐことが出來る『ますけ』の製法約一尺幅の『ガーゼ』を九つ折りにして其の間に薄く脫脂綿を入れたるものに耳掛けを附けるその耳掛けは『ガーゼ』の兩緣を裂いて用ゆれば充分である斯うして作つた『ますけ』は體裁は必ずしも上等でないが掛け具合は誠によい　これなれば如何なる家庭でも容易に出來るから一人につき二三個宛具へて置いて一回外出の際用ひたものは歸宅後少くも熱湯內に浸し乾して再び使用すればよい然し病毒の極めて夥しい時には『ますけ』を潜つて少數の病毒が侵入することがあるさう云ふ場合には成るべく早く之を除去する爲に含嗽劑を用ゆるのがよい含嗽には必ずしも特殊の藥劑を用ゆる必要はない只微溫湯で十分であるが之に少し食鹽或は硼酸を加へれば尙よい、その分量はビール瓶一杯の水に硼酸末又は食鹽を珈琲匙に四五杯(サイダー瓶一杯なればその半量)でよい斯く日常室內生活に注意すると同時に外出の時には『ますけ』を用ひ歸宅後直ちに含嗽すれば大概は病毒の感染を豫防することが出來る

感染後の處置は　こうすればよいか

以上の如く充分注意を拂つても不幸にして感染したと思ふた時には早く醫師の診察を乞ふのが一番得策である、風邪位でと云ふ遂ぎの素人療法は大禁物である病は初期の內に充分の手を盡したならば多くは大事に到らずして止むものである、殊に目下の如き大流行時には病菌が非常に强烈になつて居るから一層細心の注意が必要である感冒氣味であつたら直ちに床に籠もつて身體の安靜を保つことが第一である(つゞく)

匪賊を働く

(前略)獎賞金と稱して……姉但(二十)の六名は男張孫を除くの外何れも重傷の良民なるが……日本官憲の出金を强すべし若し應ぜ……に來りたるも金なければ急報したるが夫れと推知したる

賊は恐れ を賞して途に……ものなることを自白したるが……なる者を使者に遣はし巳の家に……月二十四日孝子洞七十一番地……止むべしと甘言を弄して六百圓……行列車襲擊……人男二名何れも……

慘殺嫌疑者

……支那人三名……

演藝案內

日本活動寫眞會社代理店　櫻井町　大正館　電話八七三
本日より新作第三次特別大興行　長尺三千呎
○實寫『銚子海岸の實況』○滑稽劇『ゼザラ理髮師』
○伊太利ケーザル會社大傑作　悲劇『アツスンタ・スピーナー』（五千呎）美しい水の都ナポリの實景を背景に映寫し名優ベルチーニ嬢セレーナ氏共演深刻悲愴なる戀愛悲劇
日活會社が最善の努力大撮影せる　江戸の花『加賀鳶』八卷　尾上松之助以下總出演

黃金町　黃金館　電話二六三七
天然色活動寫眞株式會社京城發山一手特約代理店
京阪合併歌舞伎中村吉十郎一行
◎當る壹月拾七日より　前狂言　管原天神記　車場より寺子屋まで　櫻丸(吉十郎)松王丸(時蔵)白太夫、源藏(鼠梅)
切狂言　嫗山姥　八重切(吉十郎)姫若(仲次郎)、腰次郎(光十郎)おうた(若太郎)源七
毎日正午後五時開演

連日大好評の　京阪落語一行　愈々本日より
御待乘ねの　雷門小助六
大切桔梗家連　喜劇出演仕候
一月十七日　浪花館

本町一丁目　喜樂館　電話九七四番
當る壹月十五日より新映畫提供
△實寫印度カルカツタ寺院　△滑稽ニコニコ劇『土産は女房』貳卷
△ジンマスタレグート映畫
人情哀話　モレリ妹姉　全五卷
忍術　火の玉典膳　全六卷

京城壽町　電話二六〇　浪花館
當る一月元旦より(正午後六時開場)京阪大合同落語大演藝會

月やく
さまり又は不順にして工合わるく……

奇珍書　賴る優美……他店の品と異なる一度高覽……發賣　大阪市南區阿倍野一丁目　丸屋

かるた取るより
面白い
色白くなる最良法
ニキビの手當とソバカスの除去法
◇サア何人も見逃し給ふな◇

いまゝで皆樣は何うかして色白くなりたいニキビやソバカスを治したいと樣々な塗藥や化粧液を浴びる程御使用なされたで御座いましよう、そしてドレもコレも皆少しも効めのないのに落膽して御座いましよう、アヽ情け無い、悲しいと明け暮れ定めて悲觀煩悶して御座いましよう、然しながら夫れは決して塗藥や化粧液の罪ではなく時世の罪と云はねばなりません……從來ニキビソバカスや色の黑いのは皆表皮ばかりの疾患と思つて居た爲め西洋などでも皆塗藥や化粧液ばかり用ひて居たのでありますが近頃急速の進步を遂げた歐米の醫藥學界では種々研究の結果ニキビソバカス色黑等は總て食物の作用で胃腸內に發生する或毒瓦斯と體內の惡血毒素が自然と皮膚面へ吹出す結果であるから內服藥でこれを消滅させなければ遂に今日ではニキビソバカスを根治することは出來ぬと云ふ位になりました而しそれ程効力の確實な外國の內服藥でも食物や氣候風土の異つた我々東洋人には少しも効めなく却つて髮の毛を赤くしたり身體を衰弱させたり種々危險の恐れがあるので我藥學界に有名な藥學博士島田耕一先生、越澤先生其他の五大博士大家が我々東洋人の爲めに特に合議研究された結果漸く內服して少しも害なく自然とニキビやソバカス吹出物を消滅して不思議に色を白く美しくするハルナーと云ふ靈藥を發明したのであります、サレバ今日まで塗藥や化粧液を使用して少しも効めなく嘆き悲んで居る方々は早速ハルナーを御試驗下さい、ハルナーの効力に就ては左記の店を初め全國有名な大藥店に品切れの節はツマラヌ模造類似藥等御求めなさらず直接濟生堂まで金五十錢だけ印紙か切手で御送り下さい、此際特別試驗藥と左記の書籍を無代で添へて御送致します

美身白色法＝無代で進呈す

又我五大先生は共に研究された結果美身白色法と云ふ有益な書物を記述されました此書物には色の黑い理由と色を白くする法、ニキビの原因と治療法、ソバカスの除去法其他美顏美身美容法に付て何人も心得ねばならぬ大切な事項ばかり記述されてありますから、ドナタも早速ハガキで御申込の上御讀み下さい、又ハガキで無くとも此新聞を此まゝ切拔かずに五厘郵便で直接濟生堂へ御申込あれば何人も見逃し給ふな―サア

東京市京橋區築地壹丁目の四
製藥本舖　濟生堂製藥所
電話京橋一七二〇　振替東京一七二〇

代理店及販賣店
京城　山井藥房　同　岸村藥房　同　北島眞佑三太郎　同　木島文藥店　仁川　北田本藥店　平壤　森田濟世堂　元山　石田藥房　同　池田仁壽堂　清津　新妻
龍山　群山　木浦　大邱　同　馬山　釜山
△其他全國到る處の藥店にて販賣す

○三百番香水
贅澤で經濟で、而して最も優良な

各種均一　小壜入五拾錢　中壜入壹圓五拾錢　大壜入貳圓五拾錢　內地以外は關稅運賃を加ふ

（現品寫眞圖）

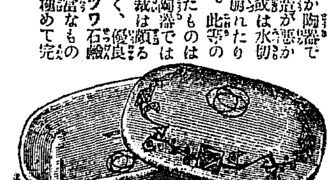
三百番香水は優雅な香で長い時間香を保つものであるが、香は人によつて、嗜好を異にして居るから、六種の香を異にするものを發賣して、更に追々種類を殖やさうと云ふ計畫である。香水は折角高價を拂つても嗜好に合はない場合が多い。三百番香水は一種毎に小瓶の見本を添へてあるので、お嗜好に合ふものが選べる便利がある。一體普通香水は容器の體裁を飾る爲に餘計に高價なものになる憂があるが、三百番香水は正味のみを自然に求めて居るので、自然價格も無類の低廉なものになつてゐる。

ヴァイオレット（すみれ）
ローズ（ばら）
リリー（ゆり）
ムゲット（花の名）
ミモーサ（花の名）
ブーケー（花たば）

ミツワ石鹼容器
體裁優美高尙にして理想的の

定價金貳拾九錢　內地以外は關稅運賃を加ふ

從來の石鹼容器は、大低金屬か陶器ですが、價格が高かつたり、構造が惡かつたりして、或は錆を生し、或は水切がよくない爲に、石鹼が溶け崩れたりする缺點が多いのであります。此等の缺點を考へて完全に製造されたものはミツワ石鹼容器であります。陶器ではあるが、品質は極めて堅牢、體裁は頗る優美、以上の缺點は毫末も無く、優良無比の品質を具備してゐるミツワ石鹼の容器として、最も理想的適當なもので、家庭用、浴室用として、極めて完全優秀なものであります



（現品寫眞圖）

○ミツワ水枕

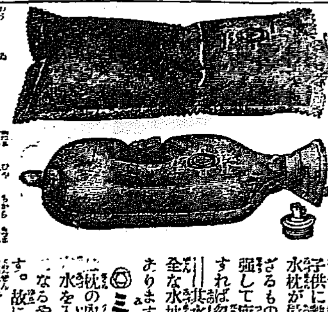
新案特許―純護謨製　丸見屋大宗田商店監製

定價　大形金壹圓貳拾錢　中形金八拾五錢　小形金參拾錢　內地以外は一割運賃を加ふ

〜凡ての家庭には必ず二個の水枕を備へざる可らず〜

子供に熱の出た時などには水枕が最も必要缺くべからざるものです―學生が勉强して疲れた時など水枕をすれば忽ち元氣回復します―其水枕の中でも特に完全な水枕は◎ミツワ水枕であります。

◎ミツワ水枕一枕の內に側壁を設け中へ水を入れると自然に凹形になるやうに製してあります。故に兩端が高く中央が凹んで居ますから頭を冷す力が最も完全で、締金も又多年苦心の結果漸く案出したもので、素人にも御婦人にも容易く使用する事の出來る誠に理想的のものであります



（特製角形圖）（大形瓶形圖）

內科　婦人科
イマモト醫院
旭町壹丁目(京城府廳裏通)　電話二八五二番

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます　クラブ化粧品代理店ですから……卸値が安いです……
京城本町二丁目角　古城贊化堂　電話一〇二番　振替七三七七番

眼科專門　金井眼科醫院
京城若草町(總督部通り電車道中程)　電話一五五六番
新築落成◎入院隨意◎日曜祭日午前中

京城日報社代理部
ヂアテルミー透熱・菫外線放電X線冷灼療法
適應症
關節諸病、諸神經痛、諸リウマチス、胃腸諸病、肺炎、肋膜炎、喘息、糖尿病、攝護腺病、睪丸炎、子宮及附屬器病、痲病、男女生殖器不能、痔核、脚氣、發育增進、手足僻血症、便秘、下痢・諸皮膚病、肩凝、齒痛、耳鼻咽喉諸病、男女生殖器病、肛門病、痛腫等・諸腸病、頭部皮膚病、感冒、肺結核、オゾン發生、空氣殺菌、耳鼻諸病等・人體透視診斷、レントゲン治療等・外科無血手術、美顏法、あざ、ほくろ、いぼ、いれずみ等の除法
時間　每日自午前十時至午後五時
實費　一療法普通美容術共金貳圓　迄X光線療法金拾圓

愈々自動車全通
釜山……蔚山……慶州間
切符發賣所　蔚山自動車組合　釜山　瓦電自動車部

人參强壯劑
慶應三年發賣　通稱三鞭人參草之王
主効　精神衰弱、貧血、腎臟病、腰痛、婦人病、生殖器病、ヒステリー、老衰、精力減退
本劑の服用に依りて貴下の精力は愈旺盛となり活動の能力は倍に增すべし
定價　二十八錢…三十五錢…
全國一手販賣　京城特約販賣店

內科　胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目　石川醫院　電話一二七二・一三九〇番

株式會社第一銀行京城支店
資本金　貳千貳百七拾萬圓
積立金　壹千六百貳拾萬圓
總預金　參億五千萬圓
頭取　佐々木勇之助
支配人　竹村利三郎
京城本町一丁目　電話二三一・二六八番

酒井婦人病院
京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)
入院隨意
電話一六〇〇・一八一〇番
酒井一郎

犯人悉く縛に就く

…下安南道順川生れ李昌海（二二）同趙基深（二七）同而書記尹弘洙（二二）同金永龍（二二）同朱基淵（二二）同金…郡三德面なる郵便所方に押し入り同人に對し我々は

假政府員 にして今回軍…は所持せる短銃を突き附け脅迫したるに郵便所は巧に虎口を逃れ附近のものに救ひを求むるこ共に里民の一人は此旨面駐在所に…まし居たるが此程成川警察署の手に何れも逮捕せられたり犯人等は時局に關係あるものに非ず衣食を得んが爲め強盜を働きた…

詐欺未遂

府内笠井町三十七番地林雲來（三七）は十二月二十日京畿道龍仁郡古三面月香里五百三十一番地金廷坤が羅泰根を…に欺き金より二百…圓を受取りながら林を搜査する…子なく反て言を左右にして該金を騙取せんこしたるが其後…も…呼び寄せ柳が羅の住所を知り居れば六百圓を提供すべし尚該金は訴訟費用こもなれば速かに提供して羅の住所…したり林及び柳は取調の結果詐欺未遂こして檢事局に送らる

飛降て負傷

京義線沙里院沈村間に於て奉天發釜山間急行列車より…るが沈村著乘車券を所持し居れる點より見れば多分同列車より飛降り負傷したるものなるべし

鳳凰城に於ける …逮捕せらる

去十二月下旬鳳凰城に於て何者にか慘殺せられたる安東新報鳳凰城支局長竹原芳藏氏殺しの犯人…領事より支那官憲へ交渉の結果本日側より吉田書記生津森警部支那側より東邊道尹公署外交部長三名鳳凰城に出張し立會取…

馬賊頭目の氣焔 (7)

襲撃は大失敗に歸し 王君は大腿部を射拔る

九死に一生を得て鎭安へ 怪しいと睨まれて捕へらる

目的の酒造家は背ろに山が在つたので、忍び寄るには至極好都合だつた。然し此の山を越ゆたかこ思ふこ酒造家には前以て警備がしてあつたこ見え、早速向ふから射撃を始めた。王君の一隊は聊か

面喰つたが 一町半位の處まで肉薄して之に應戰した。けれごも敵の抵抗が頑強なので容易に近づけさうにもないから王君の方では二名が決死隊こしてダイナマイトを持て門を破壞すべく突進した。するこ途中で二人共忽ち敵の彈に斃された。ダイナマイトを取りに行かうこ思つても近寄れない。其中に銃聲に驚いて

犬が吠える やら部落の其處此處で鐘を叩くやらで向ふには益々應援隊が殖ゑ結局退却の止むなきに至つた。そこで王君は馬首を巡らして急斜面を成した山壁を驅け上る中途で敵の銃丸は彼の左の腿を貫いた。こ同時に彼は馬背から轉げ落ちた。然し其儘にして手當を加へるわけにも行かないので

鮮血に塗れ たまゝ逃げられるまで逃げて漸く敵の追撃から免れた。其時こそ眞に九死に一生を得た思ひがした。彼は部下の者を先に逃がして置いて自分は只一人重傷を負ふた脚を引摺り乍ら鎭安の方に向つた。ところが運惡く五道溝で二人の巡警の爲に捕まつて了つた。こ云ふのは國境附近の當局は旅行者は

必ず夜具を 背負つて居るものだが彼は荷物こ云ふ荷物は一つも持つて居なかつたので馬賊に違ひないこ睨まれたからである。そして早速所持品の檢査を受けたが幸ひなこさには懐に入れてあつた短刀が、何時の間にかズボンの足首のこころまで辷り落されて居たので巡警二人もさほご嚴重に警戒はしなかつた。王君は

一策を案じ て所持金十元を巡警に差出し『こうせ自分は助からぬ身體だから……』こ云つて彼等に賄賂の心算で贈つた。彼等は喜んで夫を受けた。彼等

馬鹿を見た巡警二人 血染めの短刀の由來

が漸く氣を緩めたこ思ふ頃、王君は『一寸大便がしたい』こ申出た。二人の巡警は『よろしい其處でやれ』こ言ひ捨てたまゝ二人は王君に背を向け

石に腰掛け たまゝ何か戲談を言ひ合つて居るので王君は茲ぞこ足首のズボンの紐を解いて短刀を取り出し、突如飛び蒐つて一人の咽喉部を突き刺し素早く今一人の頭面を切つて二人が共に打倒れるのを見濟まし前に自分が與へた

十元の金を 彼等の懐から取り戻し山の中に二人の死體を放り込んで安東まで逃げて來た。『下關で藝者から貰つた短刀が飛んだところで役に立つたわけですね。』『實は未だ血が附いたまゝになつて居るので何こかせねばならんこ思ひ乍ら遂其儘で持つて歩いて居るんですがね』こ王君は相變らず落ち付き拂つて註を入れた。

砲車の轍を

積雪に印しつゝ野砲隊活躍 極寒と戰ひ三泊強行軍

砲聲殷々こして寒空に響かむ

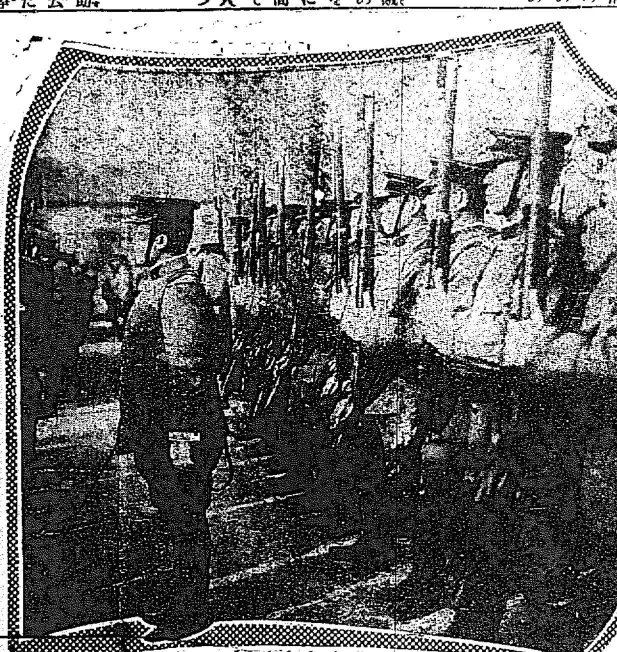
龍山野砲隊に於ては本月下旬を期し和田秀衆少佐統裁の下に

極寒を征服 すべく四十里の險を冒し三泊強行軍する計畫である今其計畫を聞くに二三年兵を一中隊こし殆ご完全なる戰砲隊を編成し極寒時に於けるあらゆる研究をする筈で第一日は先づ光池院里に向け

九里を突破 し同夜同地で村落露營を行ひ第二日は同地より利川に向け出發八里の間を演習しつゝ驀進利川に宿營第三日は十二里の間を積雪に砲車の轍を印しながら強行軍し同夜再び露營し第四日は屯營に向け歸除すべく此間十餘里の行程である。今回強行軍の研究事項重なるものは漢江

氷上の渡河 氷上蹄鐵の使用、一時間平均六基以上の行軍、極寒に於ける夜行軍、寒氣の行軍に及ぼす影響、凍結上に於ける天幕露營、凍結上に於ける馬繋場の設置、露營こ鮮人家屋使用この比較、給水々筒飯盒の携行法、凍結せる行厨の用法、寒氣の人馬衛生に及ぼす影響、防寒被服の使用、寒氣の兵器に及ぼす影響等の外

戰鬪に關し ては根據地に於ける攻擊追擊山地の遭遇戰追擊攻擊に於ける夜間の陣地占領及び拂曉攻擊等である演習地附近は四日の間砲聲殷々こして寒空に轟くであらう、各隊競つて嚴寒を征服すべく志氣頗る旺盛である



王世子殿下の御指揮振り　陸軍始め觀兵式にて

李王殿下の御孝道

御墓所の雪を拂ひ給ふ

故德壽宮李太王殿下御一周年祭も間近に差迫りたる今日此の頃故殿下御陵墓の地なる金谷里は舊臘來再三の降雪に積雪深く幽境を邃して神々しさは一入なれご參拜の道も御陵の塋も皆いたましく白妙に埋もれ果てたるを日頃より御孝心厚き李王殿下には此の由聞し召されていたく御心を動かされ速に金谷の除雪を行ふ可しこ御沙汰あり金若干を下し給ひ御附武官李源李秉規氏に命じ御陵の雪を掃はせらるゝ事こなりたるが御附の人々も今更ながらの御孝道に皆感涙に咽び居れり

東本願寺役員總辭職

東本願寺役員は總辭職す（京都電報）

平南線列車立往生

大吹雪の爲 太平附近で

十三日午後二時鎭南浦驛發五〇三號列車が太平驛附近に差し掛りたるに折柄の烈風に前日來の積雪丈餘に達し遂に列車の進行を妨ぐるに至り同列車は止むなく同地點に立往生するに至りたるがこの報に接し平壤中平組より人夫一百餘名を急派し復舊工事に着手したるも容易に復舊せず十四日午後六時三十分漸く客車のみ救助するを得たるより平壤驛より特別列車を發して之を救助するこゝしたるが今尚全部の開通は不可能なり一般乘客に對しては平壤驛より炊出しを爲し漸く供飯するを得たるが十四日午後十時に至るも尚同列車は發車せず

兼二浦線にも立往生

間もなく開通す

右事件の外十三日午後九時五十分平壤發兼二浦發列車も力浦大同江鐵橋間に於て吹雪の爲め不通こなりたるが復舊工事に着手後四十分間にして漸く開通するを得たりこ（平壤）

京元線尚開通せず

京城發列車は高山驛まで

京元線高山驛王寺間咸鏡線文川龍潭間及び馬場新上間線路は吹雪烈しき爲吹溜りこの爲目下除雪作業に全力を盡しつゝあるこ雖も進捗意の如くならず十六日中は開通の見込みなかるべく依つて南大門發各列車は高山驛折返しこし元山發列車は驛王寺折返しこして運轉中なりこ

民間飛行大會中止

強風の爲め

十五日擧行さる可き第一回民間飛行大會は強風の爲め中止されたり（東京特電）

歷代大王の御照影

昌德宮へ御移遷

德壽宮内璿源殿より

德壽宮永成門内璿源殿は李朝太祖大王外の歷代の御照影を奉安せる聖殿なるが來る二月十六日を以て昌德宮内に移奉せらるべく尚李王先紀殿下を祭れる德孝殿は二月二十四日に移奉の由なり又李太王殿下明成皇后合祀の御儀は三月三十一日擧行あらせらる可しこ

來る二十日から賣出す り號國庫證券

全鮮郵便局所で取扱ふ

廿五圓、五十圓、百圓、五百圓の四種 最も安全な放資物

本年一月から朝鮮の郵便局所で國債募集賣出及元利金の支拂を取扱ふここになつた内地では昨年七月から各地の郵便局で此の取り扱ひを爲さしめたのであるがその結果は甚だ良好な成績を收めたので母國以外にも行渉らしめる目的で臺灣にも及ぼし今回愈々朝鮮にも其取扱を開始するここになつたのである

元來公債の購入は放資物こして最も安全なものであるが先づ利子の支拂は日本銀行支店及其の代理店たる取扱銀行に限られ唯僅に其の證券や利札を郵便貯金預け入れ人がその貯金に預入するここを得るの方法があつたに過ぎなかつたため取扱銀行所在地以外に居住する人々には多少厄介視せられ進んで購入するの氣分を持たなかつたが、郵便局所で募集も賣出も元利金支拂も取扱ふここになつて以來地方農村居住者は居ながらに郵便局で元利金の支拂を受くる便宜を得た結果內地では地方農村居住者の公債を購入する者が著しく增加したさうである。殊に公債は信用確實なる政府の債務であるから價格變動も少なく從て株式界の事情に闇い人々或は地方に居て現物の騰落を直に知るの便なき人々にこつては最も安全な然も絕好な放資物件たるを失はないものである。恰度本月二十日から三十一日迄に政府では り號臨時國庫證券を發行し內地では全國の郵便局をしてその賣出しを爲さしめるここになつたから朝鮮でも先づ最初の試みこして差向き道廳又は府廳の所在地にある郵便局所でその賣出をするここになつた。今回の賣出は可成廣く一般に行渡らしめたい目的で額面種類を二十五圓、五十圓、百圓及び五百圓の四種に分ち社會の各階級に對して頒布されるここになつて居り又賣出價格は二十五圓券が二十三圓七十五錢、五十圓券が四十七圓五十錢、百圓券が九十五圓、五百圓券が四百七十五圓こいふ割合になつて居る。利率も額面の年五分こいふここであるが百圓券を九十五圓で買つて五年後（償還期限が大正十三年十二月一日迄であるから）には額面の金額即ち百圓が受取れるからその利廻り歩合も年六分三厘餘りに相當する都合で結局一種の据置貯金こしても有利なものこなる譯である。且つこの國庫證券は他の國債こ等しく何處へ行つても所得稅は免除され政府やその他に對する擔保品こしては優良なものこせられ又支拂期の到達した利札は現金の代用こして租稅其の他の國庫納金に使用するここが出來るなごの特典も有る。此の外尚證券購入者の爲に便利なここは郵便局所では證券保管事務も取扱つて居るから購入した證券を自分で保管するのを面倒だこ思ふ人は其の證券の保管を郵便局所に依託するここも出來、又好きな時に交付を受けるここも出來る。又保管中の證券については郵便局所が利子を受取つて預け入れて呉れるし又償還になつた場合には償還金を受取つて貯金に預け入れるから利子も償還金も坐つて居ながら受取るここが出來るから至極便利である。右の樣な次第であるから內地の

問題の女小時の戀（二）

『中村家に纏る怪事件』の女主人公時子の身上話

田中光顯伯に妾奉公　物語を書くに先立つて

時子こ殿この間に戀が生れ、更に夫婦關係が成り立つて以來、絕えず兩人の間に

波瀾葛藤 が生じて互に苦しみ合つたここは、見樣に依つて何れにも同情の價値がある。中村家から言へば大事な長男を地位も身分も財產もない甚だ不純な歷史を持つた女を、中村家の嫁さするここは決して好ましいここでは無い。折があつたならば離緣したいこ云ふここも世間並に觀察すれば無理からぬここでもあらう。殿自身から云つても、縱令一時は

戀に溺れ たこは云へ、自分の地位名譽財產親同胞こ時子を兩天秤に懸けて何の躊躇するこなく時子の方を重しこするまでには溺れて居なかつたのであらう。殊に同棲八年の間時子の品行に就いて殿は幾度か疑ひ惱み、且つ名譽や義理の爲めに

制肘を受 けて居たここも亦事實であるこ認めねばならない、斯うした點から觀察すれば中村家の人々に對しても成程或度までは同情の價値はあるであらう。併し乍ら時子の身上は一層の同情に價する。彼女にも勿論種々の缺陷や失策もあつたに違ひない。けれごも彼女は命を懸けて殿を戀慕ひ八年間連れ添ふたのに美事

背負ひ投 げを喰はされたのみならず、精神的に致命傷を負はされた。物質上にも何等惠まるゝここなく、今では一日も早く身の振方をつけねばならず、再び藝妓こして打つて出るにしても、曾て殿の爲に勤めを疎にした廉に依つて、容易に

花柳界の 同情を得るここさへ出來ない。彼女が途方に暮れて居るのも無理からぬここだ。以上は彼女の僞らぬ告白を綴る前に、幾分でも讀者の公正な批判に訴へたいので書き添へたに過ぎない。

時子は所謂生粹の江戸ッ子で自宅は本鄕の湯島天神町に在る彼女は東京の女に特有な打解た態度こキビ〳〵した言葉使ひから觀ても直に東京の女こ云ふ事が判る。こちらかこ云へば可愛らしい表情を持つた話上手な女だ。『恥かしい話ですけれご何も彼も申上げますわ。幼さい時のここは必要もありませんから、十五の時から申上げませう。其時私は家の都合で始めて葭町から藝妓になつて出ました。するこ藝妓になつて直ぐ田中光顯伯のお妾になつて目白の御殿に養はれるここになりました』こ口を切つて其當時の心持から今日までの事を次のやうに話して聞かせた。

大飛行先發隊出發す

京城著は來る廿四五日頃

本隊は二月一日羅馬出發の筈

ダヌンチオ氏の羅馬東京間大飛行は愈二月一日羅馬出發の筈にて其先發たるカプロニー機は既に壯途に就けり豫定の如く飛行せば廿四五頃京城に其雄姿を現す可し（東京特電）

羅馬東京間大飛行の先發カプロニー號飛行機上で二名の操縱者により八日午前十時半羅馬を發しアルバニアのヴァロナに到着したり（倫敦電報）

大鐵傘動搖めく

新國技館の開館式

古式に則る行事の種々 兩國橋畔は空前の人出

十五日午後一時より新國技館開館式擧行されたり當日午前二時莊嚴なる地鎭祭を執行し午前中初日の太鼓觸れを爲し定刻

宮殿下 の台臨あり朝野の名士六千餘臨場細川委員長代理こして藤波子爵の開館式開始の挨拶協會取締出羽の海の式辭あり次いで莊嚴なる方屋祭を相撲の司家吉田追風太刀持木村藤市脇行司木村庄之助式守伊之助にて行ひ更に太鼓、並に方屋祭を吉田追風古式に則り行ひ之より來賓の祝辭披露あり次いで

栃木鳳 兩橫綱は行司吉田追風式守伊之助言上行司木村庄之助にて三段構へを踏み之より神相撲に入り對馬千葉南大關勤め次いで御前かゝり方屋入りこなり行司木村庄之助披露拂ひ太刀持栃木山大錦の土俵入りあり聽て式相撲の取組あり此取組終るや理事長根岸治右衛門氏協會を代表して謝辭を述べ之にて式を了り

模擬店 を開始したるが歡聲湧くが如く兩國橋より附近は雲霞の如き人出ありたり尚中野軍用鳩調査會は式中緣起を祝ひ六十四羽の鳩を放ち來賓は歡を盡して解散せり（東京特電）

自轉車泥棒

市內若草町百六十四番地石川昇（二六）は十二月十七日午前三時頃南大門通り一の朝鮮郵船會社の裏門より侵入し門內に立て掛けありし自轉車一輛を窃取直ちに友人なる吉野佐吉に情を明かし賣却方を託したる事本町署の探知する處こなり一月十一日同署の手に逮捕されたるが十五日檢事局に送らる

氣の毒な乘客

京元線の大雪　川江工務課長談

京元線に於ける大雪の爲め列車立往生の狀況を視察すべく高山驛に急行したる川江工務課長は十五日夜歸城したるが十六日朝語りて曰く咸鏡京元線に於ける降雪被害に關する豫防法は其施設當初より種々考慮研究しゐたるも今般の如きは殆ご想像にも及ばざる事にして間斷無く人夫の排除する雪の量よりも高所より吹き溜る雪の量却つて多きが如き狀態なり乘客の如きは蠟燭の灯の下に僅に運ばる、炊出しを以て飢餓を支へ居る有樣にして慘狀目も當てられず全く同情に堪へず併し幸ひにも同地…

日本銀貨の密輸出

犯人は二名の支那人

十五日午前七時半大阪發神戶著列車にて鮑二箇に銀貨數千圓を密輸出せんこせる支那人吳當章外一名取押さへられ目下連累者檢擧中なり（大阪電報）

新義州の火事

貧民部落より發火 十戶全燒す

十三日午後三時十分新義州眞砂町三丁目三四文觀方より失火し四棟十戶を燒失各消防組の盡力ありしも風強く且つ水利惡き爲め消防意の如くならず同五時半鎭火せり同所は貧民部落なるため損害は約三千圓の見込み新義州分監附近なりし爲め警戒頗る嚴重を極めたり（安東縣電報）

二千圓の支那紙幣

行使者逮捕

住所不定館德三（四〇）は昨年九月十五日頃某支那人より支那五圓紙幣四百枚を讓り受け直ちに平川洞百二十七番地金弘植に情を明かして賣却方を託したり金は該紙幣の一部を金永基なるものに渡したるが其後轉々賣却或は使用され居たる事本町署岸、宗兩刑事の探知する處こなり嚴探の結果一月一日館を逮捕したり之に依り手係を得て搜査したる結果十日迄に嫌疑者十六名を逮捕するに至れるが同署にて取調の末十五日檢事局に送られたり

黄金館好評

明晩の替狂言

本紙讀者慰安優待割引券發行こ共に黄金館の歌舞伎一座は一層の人氣を呼びつゝあるが十七日よりの替狂言左の如し 一番目『菅原天神記』車場より寺小屋まで▲切狂言『鳳山姥』

脅迫す 富豪連を

不逞漢就縛

全南寶城郡內の兩班富豪數十軒に宛て一兩年前より脅迫的文書を送り金錢を奪取せる曲者あり其被害金額砂少ならず鮮人富豪連は戰々恟々たりしが爾來數ケ月に亘りて其筋苦心搜査の結果遂に之が犯人こして某鮮人一名を逮捕したり家宅搜査の際各富豪に郵送したる脅迫文の原稿…

大邱の火事

十三日午前四時大邱府八雲町四十五番地繩製造業金致潤方より失火し三戶二棟を燒失して同五時鎭火したるが原因は十二日夜の妻鄭元伊が病死したるより同夜は一室に燈火を點じ家族等は別室に通夜をなし居りたるに該燈火は何時しか天井に延燒し大事に至りたるものの如し損害高は約二千六百圓なりこ

美人連へ御褒美

三券の表彰式

例年の如く京城の各券番では藝妓舞妓去年一年中の線香數こ席を調べそれ〳〵成績を發表したが中券では逸早く十五日午後三時同券番で優良者へ賞品を授與した、京城券では二十五日、新券番は二十三日頃何れも賞品授與式を擧げる筈だこか

中券番 壹等新花月太郎▲貳等新花月吉奴▲參等みごり家駒助▲四等みごり家駒助▲五等吉田家勝助

京城券番 一等大和家若奴▲二等いろは喜勇▲三等千こせ小萬▲四等丹席朝駒▲五等花山席花奴▲六等水席小太郎▲七等大和家小奴▲八等大和家若勇▲九等花柳席小千代▲十等大和家若福▲抑妓一等桃席三代子▲同二等仲駒席つぼみ

新券番 一等元楠家〆奴▲二等紅家鈴子▲三等紅家芳彌▲四等玉家…▲五等…家花…▲六等紅家…▲七等…▲八等玉家…▲九等…▲十等…▲抑妓一等…▲同二等…▲同三等君家桃葉

黄金館出演の花形　右より吉十郎、時睦、梅蔵、眼丸、君太郎

郡部の火事

十五日午後十時四十五分高陽郡漢芝面…堂里肥料製造業山本信方より出火せるを黃金町消防所望樓より發見し直ちに消防隊出動防火に努め同一時廿分全く鎭火したるが日本式アスハルト…製造所一棟全燒したるのみにて人畜には何等の被害なし出火の原因は火鉢の火から

連絡船延着

十五日午後九時十分入港すべき昌慶丸は海上風浪烈しき爲め下關出帆が三時間延發したり（釜山特電）

同情

十五日發行本紙記載の孝子安泳に同情し本社を經て左の通り寄贈ありたり
三井物產支店長夫人　金拾圓也　辻 …子

○軍參謀邸の慶事 軍參謀…
○石田法官部長歸京 軍司令部法官部長石田氏は…十四日夜東上せり
○曹洞宗別院の觀音講 市內若草町曹洞宗別院に於て十七日午後二時より觀音講の例會を開き…

丸山事務官は此…中で元氣よくテニスをやつたのは訂いが足袋跣足で走り廻つた報いは顏面…▲『早く手當をしないこ指を切斷しなければなりませんよ』こ傍人が言へば『人蔘エキスをつけこけば癒つて了ふさうな…やないか』は相變らず呑氣▲吳府尹は就任當初の評判では打つてかはつて『好い人だ』こ話がわかる▲部下の評判が大分い▲釜山の某會社では年末賞與を餘計にやりすぎたから半分返せこ取戻しを請求して居るさうだが誰も皆使つて了つて後の祭りこは笑はせる

京坂合併大歌舞伎
中村吉十郎一座
入場料 特等二圓五十 一等一圓 二等一 三等七十
割引 一圓五十 一 七十 四十
京日讀者慰安割引券 一枚二人共通（小供各等半額）
當月十五日より午後四時開演 於黄金館
本券切拔持參の方に限り左記の通り割引致します
京城日報社

新春に入りて盆好景氣の安東

安東縣と銀行會社組合

▼銀行の新開業▲ 安東縣の內鮮支人發起の株式會社協成銀行第一回發起人會を去る十日安東公會堂に於て開催したるが同行は資本金百萬圓二萬株として發起人賛成人に株全部を引き受くる事になるべく日本人側の發起人は森田平作、齋藤進、田中毅藏、久間治平、配の四氏なりと

▼材木組合會▲ 安東材木商組合は十一日午後六時より料亭丸小亭に於て定時總會を開き大正八年度會計報告並に評議員十四名の改選を行ひ同時に正副二長の互選を行ふ筈なりしも正副長の互選は之を次回に讓る事となり引續き新年宴會を開きたり評議員氏名左の如し
荒川六平、石崎久三郎、武藤守一、三井物產、無限公司、加藤吉吉、東亞木材興業、唐梓龍吉、前田伊左衛門、浦元敏庸、杭木會社、前田安次郎、鈴木商店、足立殿氏

▼木材會社增資▲ 安東縣河橋河り安東木材合資會社は從來資本金一萬四千圓の小資本にて經營し來りたるも頗る殷賑中資本金を二十萬圓に增加し安東領事館に商業登記をなしたり同社は本年二月中更に株式會社に組織を變更し資本金を百萬圓となす計畫中なりと出資金額及氏名如左
入獨國松井三男、倉[illegible]、柿本幸吉、浦元敏庸、島川宗一、小橋正一、有永乃武士氏

▼安東縣硝子會社▲ 資本金十萬圓の安東硝子製造株式會社は殷賑中創立の準備成りたるが一月二十日第一回株金の拂込みを了し本月中創立總會を開く由

▼採公棧の買收▲ 安東縣市場通り小林多吉氏の經營する上流伐木を業とする採公棧の權利一切を金二萬七千圓にて足立嚴果運漕、三輪久一、黒岩榮助、原田市松の諸氏買收し匿名組合にて經營する事に決す

木浦金融狀況

大正八年十二月中の分　鮮銀木浦支店調査

▼棉花▲ 綿花米棉相場の大勢好調を持續せしにより出廻り盛況を呈し競爭買緩烈を極め地場盆昂騰を告ぐるに至りしかば工場筋は稍々鋒戒の態度を持し買付を手控ふるに至りしも市中仲買人の買付相當多額に上り一面歳末決濟關係と相俟つて潤澤なりしより綿棉の移出高逐日增加し本月の移出高は百七十三萬餘圓に上り之が方面資金の移動頗る盛なりき

▼米穀▲ 米は當地方一般豐作なりしと相場續いて强調を辿りし爲さて月初以來日々出廻り旺盛を極めつゝありしが月央に入り內地正期米の一轉軟調に傾きたる爲地場盛況の狀を呈し幾分先高見越による賣惜の傾向を呈せんとせしも各金融業者は等により此方面放出資金は稍固定的加味するありて爾來遡漲捗取らず加ふるに天候不良のため乾燥困難なりし事を懸念し當業者も常に警戒に怠らず米價も亦反撥氣勢を示すに至り紹價毎に既約米の移出を行ひしかば取引概して健實を保ち本月の移出高は百八萬三千餘圓を計上せり

▼輸移入▲ 輸移入界を見るに一時相場の奔騰に連れ仲買取引盛んなりし綿糸布砂糖類も相場の變動劇しりなきと思惑熱の冷却に伴ひ十二月に入りては荷動き前月の如く振はざりしも一般諸雜貨の賣行は續いて好況を呈したり

▼要之▲ 十二月に入り金融業者は一般に貸出引締めを斷行せしも財界は概して好況を持續し回收狀況比較的良好にて年末決濟資金の如き左したる移動を見ず無事に越年せり

狀の改修と水利

入札は十三日　水利組合

忠南大田郡新灘津狀改修工事指名入札を一月十三日大田郡廳內に於て執行したるが沿堤護岸及び取入口水門工事は京城鹿島組岩石切取り岩石部水路土工事は大田土工業組其他の構造一式は仁川中村井市次郎氏に於て夫々請負たるが此總工費は五萬五千四百八圓にして十日以內に着手し五月二十日迄には連帶責任を以て竣成する事に決定し忠南道廳は特に技術員を常駐せしめ之れが取締をなす由なり而して該改修に伴ふ水利組合設立は既に九分以上調印を了し成立には差支なき迄進捗したれば近く設立の認可を申請し夫々役員を定めて事の進捗を圖るべし(大田)

大田の陸地棉

大田郡に於ける陸地棉の出廻りは非常なる好成績にして昨年十二月末日迄に共同販賣所に於て取扱ひたる數量は二十五萬一千斤(九萬二百餘圓)に達し既に豫定額を超過したり(大田)

忠南の畜產會議

忠淸南道廳に於ては二月十六日より十八日迄三日間道廳內に管內畜產技術員會議を開會する由なるが同會議の諮問事項は管內一般畜產の狀況及其地方管情に最適する計畫並に保護生規

我國始ての鐵の枕木

費用は木の三倍なれど耐久力其他木に勝る事數倍

兼二浦にて愈々製造に著手す

鐵道院より三菱製鐵株式會社に對し交渉中なりし獨逸型鐵道用枕木の製出に關し今回愈々兩者の間に折衝纏りたる結果鐵道院より同社に多大の註文を爲し兼二浦製鐵所に於て是が製造を爲す事となりたる由なるが右に付き松田製鐵所長及同用件を帶びて過般來乘したる山岡鐵道院副參事の談に曰く鐵道院より鐵製枕木の註文ありたるは事實なり此の鐵製枕木は

獨逸型 と稱するものにして數年前鐵道院に於て試みに是を獨逸より購入し使用せるものなるが頗る好成績なりしを以て爾來是が使用の希望あるも獨逸よりは輸入杜絕の結果是が購入不可能となり且つ米國其他に於ても非製造を爲さゞる爲め茲に我國製鐵業者に於て之が生產の必要を生じたるが

內地は 八幡、東洋等にても餘り歡迎せざる風ありし結果遂に兼二浦の三菱製鐵所に於て之れを引受くる事となりたる次第なるが何分獨逸以外にては全く新しき試みなるのみならず相當精巧なる技術を要する物なるを以て最初は成否に付き頗る危まれたるも種々苦心の結果漸く完成を告げ今日にては大いに

確信を 得たる譯なるが元來製品は本邦の獨逸品に比し何等の遜色なきなり價格は從來の木製枕木に比し三倍內外に當るも耐久力に於て木に勝る事數倍故種々の點に於て結局は非常の利益なる事勿論なり(兼二浦)

仁川の人口は

去年よりも減つた　合計三萬四千三百餘人

仁川府の人口戶數は累年漸次增加しつゝあるのは事實である如く一般に認められて居るが統計の上では大正七年末の現在と大正八年十二月現在と比較すると却つて幾分の減少を示して來た然し乍ら之には

特種の事情 が存在するのであるから此の一事を以て直ちに仁川の衰退と云ひ退歩と悲觀する必要はない大正八年十二月末の統計によると仁川府內の內地人は三千百二十五戶男六千五百五十一人女五千九百四十九人で合計一萬二千五百人を數へて居る然るに大正七年の十二月では三千三百十二戶で男六千六百六十四人女六千四十七人とであつたから

結局合計 に於て一萬二千七百十一人に對する二百十一名の減少となつて居る之は一般の膨脹に反する樣であるが實に昨夏以來築港工事の完成に伴なつて之に從事する職員及び家族或ひは勞働者等の漸次退去せるに原因するもので大體に於て減少の傾向を示せると

速斷する事 は出來ない

鮮人に於ては仁川府內と富川郡の一部で仁川警察署の管下に屬する一部とを加へると戶數一萬七千六百十五戶で人口男女合計八萬五千七百九十一名を算する之に外人として支那人及び其の他の外人三百七十一戶一千七百四十二人に達する而して總督の仁川府下の人口のみにすれば內地人一萬五千五百鮮人二萬二百人外國人一千七百人で合計三萬四千三百餘人に達するのである(仁川)

○輕鐵新設軌條(安東縣) 鴨綠江に採木公司長白分局管內十九道溝及び二十一道溝間に敷設すべき輕便軌條二十一哩分は頻に八幡製鐵所に注文し製作中なりしが去る七日八幡を積出せし同軌條は北鮮沿岸の新浦に陸揚し現

憲兵の變裝說

巧く化けますか　答辯で少しまごつく

釜山憲兵分隊にては十四日午前九時より全部の變裝演習を催し新聞記者も列席せるが各自に趣向を凝らし米屋の店員、學生、職人、或は田舍老人、遊び人等に變裝し一見巧く化粧へるも亦分隊長の職業に應じての訊問に對しては何れも

答辯に苦しむ者 多く講評に於て『各自變裝の形に於ては中分なき程の成功なるも職業に對する豫備智識の缺如せるを遺憾とす』この批判は頗る同感にして今後一段の工夫を要す可く軍人氣質の上より評すれば無理からぬ事にて兎に角最初の試みとしては一般に上出來であつた(釜山)

○遼河と氷(營口) 年末に一度凍りし遼河は昨今の暖氣にて鑿碼頭より下流は解氷し渦波を揚げ居りしが十二日の寒氣にて東和公司前迄結氷し下流も兩岸は大分結氷す(營口)

○實業協會復活(松汀里) 松汀里實業協會は役員の他轉辭任等に依り久しく有名無實の觀ありしが今回同地有志の發企にて會同を見新に發會式を擧げたり

旱害の實狀 (上)

忠南道諸郡

最近忠南各地方を旅行するに旱害甚だしきは依然北方數郡にして南半部は別に食料に缺乏を告げざる見込あり瑞山沿海の漁村は耕地少きに旱害と潮害の爲收穫皆無となり今日既に雜穀草根等の混飲食にして頗る憔悴且疲勞の結果登役さへ充分ならざるものあり郡當局の周旋により殖銀より三十萬圓の

低利資金 を借受高梁配給中にして目下米穀若干仁川港より逆移入の有樣なり、之に亞げるは唐津なるも被害の程度稍輕く同樣低利資金を借受高梁配給計畫中なり仁川よりは多少米を移入するもの〻如し

牙山天安 は唐津と殆ど同一に難く見たり雖き程度にして同じく高梁配給中なるも同地方は例年の旱魃地にして一般之に慣れ敢て慌かざる風あり現に路傍の細民米飯を食し居るを見て其の

贅澤振り に驚き尋ねたるに松茸でも盛けば明日はどうにかなると一向平氣なるには驚けり其他の數郡は局部々々に被害あるを聞くも地方を通ずれば彼此相通じ辛うじて舊年末を

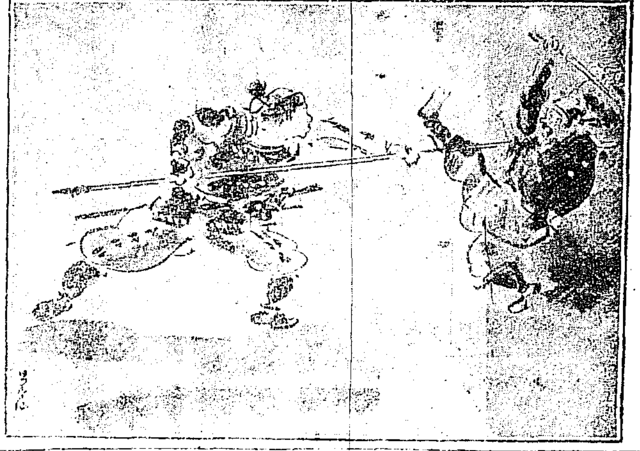
越し得らる〻 見込なり瑞山唐津を除けば總體の成績も例年より甚だしく遲延せざりしと(天安、河生)

伊達騷動

第百十六席　小金井芦洲講演

甚三、黒川を突殺す

合點の傍へ寄らうとする途端、籠の中から 安『アイヤ暫らく待たれよ、御所望とあれば惜むに足らぬ白髪首と……籠の中にて最期致すとは無念、ヤアヤア各々籠の中より鬼き出せッ……』一同『心得たり』バラ〳〵〳〵と前後から五六十人得物を持つて馳け寄るを、乘物の中では近習に騷がず『飛ぶ共臨へ出て[illegible]致さん』と悠々として籠の引戶をスラりと開き立ち出る者を見てあれば、黒系緘の腹卷に十手頭の小手臑當、鎖をたゝんで餘りの大男、大小刀を擱み差し左の手に種ヶ島の短筒、火繩の燿ボッ〳〵と立ち右の手には日の丸の鐵扇を開いて風を呼びつ〳〵、士『ヤアイ蛆蟲奴等、何をガヤ〳〵騷ぎ立てるぞ……斯樣な事もあらうかと伊達安藝殿は片倉小十郎殿と御密談、安藝殿はな、ヒヤリと申す間道を經て唯今頃は最早江戶表へ御着の筈だ、何をザワ〳〵騷ぐのだ、サ斯く申す某は仙臺に然る者ありと聞えたる熊田甚吾兵衛源秀國と申す者なるぞ、痩浪人の生氣な此品でも喰へ……』ドーンと打放つた一發、索に制達の々は一同『ヤー』遁つた狩玉だ〳〵熊だ〳〵ヤー逃げー……一同は逃げか〻る、甚吾兵衛『[illegible]しろ』と[illegible]門兵衛の術中に陷りしる如くに突いて掛る、山三左衛門機先を制せられ且つ突進らねたる篝火に途を遮られ必死となつて十文字の槍を打ち振つて立ち向ひ『謀る〳〵』と思ひの外却つて汝等に謀られしか、殘念なり覺悟致せッ『小才覽しき蛟蜻蛉奴、觀念ひろげ』と唯一ト煽り何條以て堪まるべき三左衛門槍を叩き落され『三南無三寶』と飛び下り大刀の柄へ手を掛け拔かんとするを返がせも果てず、飛び込みざま『エイ』と一聲突き出す槍先美事脇元を背中まで槍先白く突拔かれ、ウーンと叫ぶと甚五兵衛『我力量を見よや』と黒川を突貫きしまゝ風車の如くクル〳〵〳〵と振廻す 甚『エイ未だ[illegible]』とつて居るか、執念深い奴だ』と振冠つて一ト振り振れば死骸は槍を殘れアーンと逃げ出して行く奴の頭の上へ落ちて往き、ウハワーと三人は堪らず倒れた、[illegible]き、秋の木の葉の散る如く、バラ〳〵〳〵と逃げ去つて行方も知れずなりました、熊田甚吾兵衛は大口開いて打笑ひ 甚『逃足早きは浪人の常、僅の金子に眼が眩み、要らざる事に助勢をして、可惜命を捨てるとは是非も矢張り自業自得、馬鹿な奴だ』と槍の血振ひをして傍に立て扇で風を招びながら大音を上げ 甚『ヤア〳〵方々最早曲者は逃去りました、折合ひ候へ〳〵』を合圖に一個逃げた連中ドカドカ立戻つて來た、急に強くなつた事一同『熊田氏御手柄〳〵、後は吾々引受ました』と熊田が鎗[illegible]に當つて[illegible]つて逃つた、是から何んござい[illegible]に出さうな者だ、[illegible]斯く[illegible]に適うとは[illegible]ぎりしが旨く參りました、[illegible]方北方に忍んで居る、[illegible]いにも仔細はないが、し念の爲し御座る、誰方か一人夜の宿へ歸られて、別段長文[illegible]は入りません、[illegible]吾々は[illegible]の伊達安藝御用につき[illegible]中御通名の御宿に向つて出府の爲め通行の途次、鍋掛ヶ原中程に於て狼籍者有之據ろなく打擲つて通行仕る間、死骸の儀は御法通り然るべく御取扱ひ願ひ度く、尤も太田原にも委細屆置きますと因遁かゝやう……』其處で一人跡の宿と太田原へ屆け出る。



營口の暴風

全く去りたるが是がため遼東半島は天候不良となり同消低氣壓の通過後は忽ち高氣壓崩ひ風力[illegible]ざりし爲め氣溫は割合に暖かく最低零度以下十五度なりき蓋し入りての最初の寒氣なり

營口通信

逆襲記念　十二月は日露[illegible]營口に於て特に總會を開き勅諭奉讀式を行ひ[illegible]分會副長の西[illegible]其の他地方有志等會する[illegible]を招待す

京城本町壹丁目　電話一四八〇番 一八七〇番
㋡津村兄弟商會

棊將新手合 (三)

於京城黄金町[illegible]
先番二段[illegible]氏
後手二段　林[illegible]氏

△七七角▲四九飛ナル△一一角ナル▲一三桂△五九金ヨル▲一[illegible]九龍(ト)△三二馬▲二五銀△四六飛▲二九龍△四一飛ナル▲四[illegible]二步△四九香▲五一金引△一二[illegible]龍(チ)▲五四角[illegible]

(ト)三六龍は[illegible]
(チ)二一龍は[illegible]

一月十八日

舊十一月廿八日

土用　午後四時廿一分

▼三碧▲ 思案に餘る事あるや、されど心正しければ意通す
▼四綠▲ 願ひ事の叶ふべき好き日なれど辛に疑はれ〳〵
▼五黃▲ 行り懸け次第にては[illegible]
▼六白▲ 白き事ある日我慢を愼むべし
▼七赤▲ 男女間のことは[illegible]
▼八白▲ 凡べて步の惡き日なり
▼九紫▲ 花も實もある誠に[illegible]
▼一白▲ 福の舞ひ込む如き好き日なれど傲慢なれば吉運を逃す
▼二黑▲ 無駄骨の折れる日なれど勞して効あれば忠實にすべし

永代日記

◇頗る便利で經濟的な
◇思ひ付いた日から書けて十年でも廿年でも書ける
◇新時代の日記

凡ての定り切つた形式を省いた日記で[illegible]日記は事件や感想の起つた時に記入し得る頗る便利經濟的な日記です、こんな筆不生の人でもこんな忙しい人でも書ける十年でも一生の日記でも書ける仕組にして思ひ付いた日からの日記も書き得らる故に自己の歷史として永久に保存出來得られる、繁忙なる事務家は勿論誰にも必要缺くべからざる日記である

附錄 [illegible]

特價 [illegible]

有致社

月やく

こまり不順でお心配の方へ

はやくこまり不順のため[illegible]

東京市四谷[illegible]
大阪市[illegible]

ぢ

痔で困る方は送れば無代でキラスを[illegible]

名古屋市南小川町五〇　救世院

ね小便と小便近き人へ

毎日來る新發見の療法あり今ハガキで申込の方へ無代進上す

東京市京橋築地町[illegible]三九七六　救世院

純良の品質は本邦人の美髪に適し食用に供して他の揚油に優る

○ミツワ椿油

定價　大瓶 金貳圓　中瓶 金壹圓貳拾錢　小瓶 金六拾五錢
內地以外は實費送料を加ふ

椿油が毛髪に最好適のものなることは、古來からの定說ですが、然し普通椿油と稱されてゐるものには純粹の品は尠く、混合物があり、且つ化學的操作を加へて、純粹の椿油のやうにしてあるものが多い、ミツワ椿油は特殊の製造法に依つて製された、眞に純粹なもので、椿の成熟した實を產地から直接に取寄せて、獨特の製法で精製されてゐるものである、夫故に本品は左の優秀な特徵を具備してゐるが、これは他の椿油には絕對にない特色で、漆黑な艶々しい黑髪さなる美髪法には、缺くべからざるものである。

○ミツワ椿油の特徵

浸透性　毛髪の組織に浸透して其發育を助け、漆黑ならしめ、赤毛白毛になり易き髪を除き、裂毛折毛等を生ずる虞を去る。
不乾性　ミツワ椿油は特に此不乾性に優り、毛髪は常に色艶々しく、濡羽色に漆黑ならしめる。
冷壓法　ミツワ椿油の製造法は他と異りて、絕對的に熱を加へず、强力なる壓搾機で搾取したものである。
純粹　本品は些の混合物なく、搾取せるまゝの絕對的純粹なることは他に比なく、食用に供して風味頗る輕く他の揚油に優る。

○ミツワ固煉油

定價　一個　金貳拾錢

ミツワ石鹼
ミツワ家庭藥　本舖

東京市日本橋區橋町四丁目
賣藥、化粧品、石鹼、香粧品、小間物問屋
丸見屋商店
電話浪花三〇・四四八・四四九・四五〇番

皮革の保存耐久と其光澤を現すに特効ある

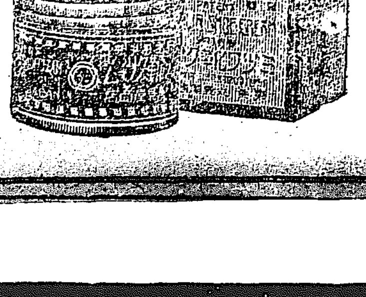
專賣特許　○ミツワ靴クリーム

壹、黒の兩種あり　定價一個　金參拾錢　市內は一個にても配達

從來發賣されてゐる靴クリームには、皮革の保存耐久を主として、製造されたものは殆ど無く、多くは唯光澤の出る事へ重しくなれば、それでよいと云ふ傾がある、靴を用ふる身には其保存耐久を計り、使用能率を增進することが肝要である、價格の高い靴でも安い靴でも、十分に手入をよくして置かねば、不良破損を早くするものである、それ故に靴クリームは此目的に適したものを使用するがよい、それにはミツワ靴クリームが最も好適である、此靴クリームは皮革の光澤を美しくする許でなく、其保存耐久に留意して、特に研究されてゐる、理想的に完全のものであるから、從來の靴クリームの缺點は悉く改善されてゐるので、理想的に完全なものであるから、靴クリームを使ふ以上は全く本品に限るのである、左の優秀な特徵に依つても如何に本品が傑出してゐるか、知れるのである。

一、良革の保存耐久に有効な或物質を配合せること
一、耐水性の完全なる事、塵埃を附着する粘着性なき事
一、少量を以て十分美しく磨かれる極經濟的なること
一、一回塗布すれば靴を常用しても三四日は同樣の色艶を保つこと
一、保存中變質の憂なき故使用し盡されること

賣捌店　(洋品店、雜貨店、化粧品店、薬店、文房具學校用品、荒物食料品舖)
(最寄の商店に無くば直接本舖へ郵券代用にても御注文を乞ふ)



ミツワ石鹼
ミツワ家庭藥　本舖

東京市日本橋區橋町
○丸見屋商店

商況

土地熱漸衰

昨秋頃まで熾烈の人氣を蒐めたる朝鮮の市街地並に地方の水田畑等の賣買は金融の緊縮等も原因し最近漸衰の姿にあり其原因は（一）穀價の現状維持永續せば今日の地方水田價格は尚割安なるべきも然も一面より見るに昨年來地價の昂騰は異常にして米價の前途に思ひを致せばその賣氣は自然萎縮すべし（二）地方は近來土地熱去つて銀行會社新設熱旺盛なるに到れり安計畫中のもの漸次實現して拂込資金を要するに至らば不動産の處分も出で來るべきか又市街地は金利昂騰並に大勢緊縮の關合にて買手控へられ居れりと

東亞煙草拂込説

東亞煙草會社にては奉天北に大工場の擴張並に上海方面の事業擴張葉煙草買入資金等を要するにつき昨年來新株第二回拂込徴收の議社内にありとの説あり二月若くは三月その發表を見るべき豫想なるが拂込は一株十圓位ならんと

在阪朝鮮米

大阪倉庫の在米高十二月末調査を聞くに二十九萬八千七百俵中朝鮮玄米は七萬四千三百俵又白米は三千五百零二俵にして之れを前月に比し増加を來し居れりと

財界閑話

仁川取引所の倉庫も今春可なり大きいのを建築するらしい建築材料昂騰の折柄とて資金は餘程いるだらう▲倉庫の新築は拂込徴收の材料にするのだなごと解してゐる者もあるが然らず事實必要があつてその建築をやるのである▲唯その資金を得るためには結局拂込みを徴する外はないかも知れぬつまり拂込みをするために倉庫を建つるのでなく倉庫を建つるために拂込みをこるやうになるのさとは某市役の談片▲どちらにしても結果は同じ事だが去秋の株主總會で全會一致可決した未拂込の徴收問題もごうやら雲行が急になつて可能の時期を早めた觀がある▲或る人なごは仁川取引所のやうに收益率莫大であれば世間の物議を避くる上に於ても未拂込徴收や増資やを實行し拂込資本の利益率を少くする方が好くはないかと云つてる▲これごは一理窟ある意見のやうにも聞ける又近來内地紡績會社の増資は多く此手の實行だ▲色々の噂に包まれた興業織造はごうも引續き人氣もよくないらしく平壌方面では拂込みをしたものが少く大倉古川等の持株は頗る減つたとの事▲で某發起人なごは一萬株以上を抱き込んださうながその後何やかやで右株式の肩すかしが出來てゐると云ふ

株式

東京現株特電

◎十六日中値 ▲騰貴△下落

銘柄	拂込	時價
鮮銀	一〇〇・〇〇	一二五、一〇
同新	一〇〇・〇〇	一五〇、〇〇
東拓	五〇・〇〇	……
一新	三七・五〇	……
二新	三二・五〇	……
殖銀	四〇・〇〇	▲二一〇、〇〇
東亞	三・五〇	……

東京株式 至急電報

◎十六日第一立會

銘柄	前場	前電と比較
東株	五二五、九〇	六、九〇安
同新	五二〇、〇〇	六、〇〇安
滿鐵	一九〇、一〇	二、七〇安
一新	一八六、〇〇	同値
二新	一八四、五〇	二、一〇安

大阪株式 至急電報

銘柄	十五日後場大引	十六日前場寄付
大株	四七九、九〇	四七八、〇〇
同新	四八〇、〇〇	四七九、〇〇
郵船	二五二、九〇	二五二、九〇
同新	一四四、六〇	一四四、九〇
商船	一七九、九〇	一八一、四〇
同新	一七五、一〇	一七六、七〇
鐘紡	五二五、五〇	五二三、九〇
同新	五一四、九〇	五一三、〇〇
東紡	三三一、一〇	三三五、五〇
東糖	一九七、一〇	一九八、三〇
東米	二三三、〇〇	二一五、〇〇
上取	二三三、〇〇	二三三、〇〇

安東現株特電

◎十七日（發騰）

銘柄	當限	先物
安東信託	寄三六、五〇 止四〇、〇〇	寄三七、〇〇 止四一、〇〇
▲當限出來高 ▲先限出來高		
滿洲證券	寄三七、〇〇 止四二、〇〇	寄四一、〇〇 止四三、八〇
▲當限出來高 ▲先限出來高		

京城現株 標準値段

▲印騰貴 △印下落

銘柄	拂込額	時價
仁取	三七・五〇	△二八四、五〇
鮮郵	三七・五〇	四一、〇〇
電興	二五・〇〇	一六、〇〇
皮革	五〇・〇〇	二五、五〇
東畜	二五・〇〇	一五、〇〇
朝紡	三七・五〇	▲三九、〇〇
製紙	三七・五〇	三九、〇〇
商銀	二五・〇〇	二九、五〇
同新	一二・五〇	二〇、〇〇
滿毛	一二・五〇	四九、五〇
滿糖	一二・五〇	三八、〇〇
朝燐	四〇・〇〇	一七、〇〇
鮮土	一二・五〇	九七、〇〇
東亞	五〇・〇〇	四〇、〇〇
同新	一二・五〇	六、五〇
森鐵	二五・〇〇	五、〇〇
中鐵	一二・五〇	一五、〇〇
殖日	一二・五〇	一三、五〇
朝日	一二・五〇	一三、五〇
安信	一二・五〇	二八、〇〇
鮮證	一二・五〇	一九、〇〇
京銀	二〇・〇〇	一四、〇〇

株式氣配特電

十六日本社着

利喰賣りにて諸株一齊に低落したるも押目買人氣旺盛を極め居れり（午前十一時十三分東京發）

市中銀行金利引上の噂に利喰嵩み諸株一齊安（午後一時二十分大阪發新田商店入電）

京城現株市況

今朝の市況は昨日東京現株入電の高移りを受けて稍緊張の色あり掲げ昨夕刻仁川に於いて仁取の爆發相場現出したりと傳へられて當地も忽ち二三圓方の高値へこなり朝鮮紡織亦前日の小彈み電報に反して昨入電は急激の引返しを演じたるもの如くなりたり

東京現株別電

十五日正午値段

東株五〇〇〇、〇〇▲滿鐵二新一五二、〇〇▲郵船一五八、〇〇▲商船一七七、〇〇▲鐘紡五一五、〇〇▲東拓一新八六、〇〇▲朝紡一八二、〇〇▲鮮銀一五〇、〇〇▲殖銀一一八、〇〇▲東拓三八、〇〇（二和商店入電）鮮銀二五一、〇〇▲同二九、新四五、〇〇▲朝紡四〇、〇〇▲殖銀二五、〇〇▲滿糖五一、五〇▲滿蒙五〇、〇〇▲滿鐵二新一五三、〇〇▲朝紡二九、〇〇（新田商店入電）

銘柄	値	前日比
仁川倉庫	一、〇〇〇	三、〇〇〇
韓一銀新	一九、五〇〇	二〇、〇〇〇
仁川取引	一八四、〇〇〇	一七、〇〇〇
朝鮮紡織	三八、〇〇〇	二〇、〇〇〇
東洋拓殖	九七、五〇〇	五、〇〇〇
同一新	八三、五〇〇	〇、〇〇〇
同二新	四四、〇〇〇	一七、〇〇〇
朝鮮電興	一六、〇〇〇	九、〇〇〇
滿鐵一新	七八、〇〇〇	一一、〇〇〇
同二新	五二、五〇〇	五、〇〇〇
商業銀行	五九、〇〇〇	七、〇〇〇
同新	二〇、五〇〇	〇、〇〇〇
殖産銀行	一八、〇〇〇	三〇、〇〇〇
滿洲證券	二九、五〇〇	一九、〇〇〇
朝鮮銀行	二五、〇〇〇	五、〇〇〇
朝日醸造	一三、五〇〇	六、〇〇〇
日本製麻	二〇九、五〇〇	一三、〇〇〇

三十八圓を安値に高値四十一圓五十錢の入電もありて三十九圓迄の手合せあり殖銀も引續き小高く東拓二新亦聢かりを維持して商内活潑に行はれたり前日午後より今朝に亘る手合せ平均値左の如し

仁取再び奔躍

仁取株は仁川に於て百八十九圓の手合ありたりと傳へらるゝや當地の人氣も昨夕刻より忽ち硬化して八十五圓迄の買聲起り直ちに五十枚の手合せ出來せる模様なるが之れ昨紙所報の如く同社の倉庫建設計畫に伴ふ當然の成行として拂込みを氣構へられたる爲めなるべく續いて來るもの後は增資問題なるが無論拂込徴收は京城に於ける現株市場にして果して三百萬圓の資本を以て出現するものとすれば之れとの比例上にも增資の機運を促進する可能性を帶ぶるものと見るべく勞々内地取引所との權衡もありて衆目の見る處が今日の値頃は資金と行き節あれば誰しも買得放の振合ひに伴はゞ誰しも極めて強硬限先二百圓突破も近かるべき機なり

朝紡は相伴高

朝鮮紡織は一昨入電の小甘き狀に反して昨電に急騰を報じ四十一圓五十錢の高報もありて前日出來値三十六圓五十錢に比し二圓五十錢方の高値三十九圓の商内あり今朝既に四十圓を中値とせらるゝに至れり然れども同株として何等強材料のあるに非ず一般紡績株高に伴れたる相伴相場の事なれば何日反落を演ずるや計られず爲し警戒裡に買進まるゝ振合あり

船舶株も好勢

諸株昂騰氣運の中に獨り船株のみは其の伸力鈍ぶかりしが定期の活躍につれ昨現物電報は郵船二百五十八圓商船百七十七圓と入れ前電に比し孰れも小十圓方の昂騰を示せり

殖銀依然優勢

殖産銀行株は昨本社入電百二十一圓を入れ新田商店十九圓五十錢二和商店十八圓と入れ區々を免れざるも概して前電に比し高移りにして當地も警戒の裡に不知不識東京高に釣られて十九圓迄の手合せあり眼先二十五六圓迄は上伸を續くべしとの觀測行はれつゝあり

拓二新大商内

東拓株は連日上げ足を續け居れるが中にも二新は値嵩の低き爲め株にや特に人氣を集め昨日より今朝に亘り九百七十枚の大商内を見せ高値四十五圓の手合もありたり

韓一銀行動く

韓一銀行株は從來曾て其の浮動を聞かざりしが近來京城に於ける株熱の急激なる發達に伴れ鮮人側も漸く之れに興味を覺ゆるに至り今朝十九圓五十錢にて二百枚の初手合せありたり

北濱だより

東京市場の光景は至極發剌、東株新舊は疾くに五百圓臺に陣取つて益々活勢を示す處、大阪側聊か意氣地なき觀がある如き今一歩にして五百圓臺を突破すへきかに見せて其實は伸力極めて遲緩▲之も一面からせば相場の諺命は決して花火線香にあらざるを證するものか▲土地株から粗糖株、水電物から肥料物と殆んど循環高を示しつゝある結果は商内高は增加、延ひて採算上大株を買ふ資料の一つとなる譯容易に活氣の失せねのも又大に理由があると云ふもの

（廣告）仁川米豆取引所仲買人 仲買店 仁川海岸町三丁目 電話長一番七・二六二・五五四

現株界總捲り（五）

古閑商店

店主古閑豐記君は田中君に次ぐ京城株界の古參にして曾て桐生屋に關係せしも後意見合はざるの故を以て退き獨立して傍ら藥貨仲買業を營む店風稍專制に傾く觀あるも店員は能く命を奉じて活動しつゝあり

東亞株店

此店は鮮人株式店にして營業主任李永柱君は曾て桐生屋の店員として斯業の經驗を積み其の放膽なる營業振りは往々内地人をして舌を捲かしめ鮮人の爲めに氣を吐きつゝあり會計康永祚君亦有名の内地通にして曾て帝都の最高學府に席を置き後仕官して勳六等を賜はりたる人にして老練能く李君を扶け最近二十萬圓の株式會社と爲すの計畫あり

米況

東京期米特電

◎十六日前場

當限寄付	五十一圓三十九錢
同 止め	……
中限寄付	五十一圓三十錢
同 止め	……
日後場	……

◎十六日前場

寄付	五一、六五
高値	……
安値	……
止め	……

大阪期米特電

◎十六日前場

當限寄付	五十圓八十九錢
同 止め	……
中限寄付	五十圓七十七錢
同 止め	……

◎十六日前場

寄付	五一、〇四
高値	……
安値	……
止め	……

神戸期米特電

◎十六日前場

寄付	五〇、五九
高値	……
安値	……
止め	……

下關期米特電

◎十六日前場（發、開散）

	當限	中限	先限
寄付	五一、一二	五一、九八	五一、一元
高値	五一、〇五	五一、〇八	五一、一元
安値	……	五〇、九〇	五一、一三
止め	五一、一二	……	五一、一三

仁川期米

十六日前場（安保合）

今朝天候西の風に晴れ阪地入電も五日後場の止め安が餘り著しくなるも本日後場の止め安を移して阪地の成行を傍觀の態なりし軟派は猛烈に活躍を立會

内地市場焦付

渡米の調達難を傳へたる大阪期米も五十圓臺は買物伏在せる爲め忽ち反撥を喚びつゝあるも一圓臺は又頭重く今朝はゞ報じ依然伸悩みの裡に安値賣整戒高値買控への振合ひなるが季節と値頃乃至時近の渡米蒐集の如何等に對方氣迷ひ勁き待ちたり相場は上下何れにも動きかねるか如く商内も自然閑散を極め居れり

伸力鈍ぶし

昨後場は當地の氣直り模様に制され氣勢を昂め前騰せずやと思はれしも又復大阪の止め安を移して今朝は買方の氣迷いと共に九十錢を高値に七十二錢迄下り押目は軟派の賣踏み合ひある四錢之の一圓〇四錢と二錢以下迷ひ裡に四節以降七十錢に商内閑散裡に終りしが相場は依然伸力を渋し又相場は強硬を脱せざるも買氣旺盛の居所高きは一般に十三錢は伸力なしと居ることゝ安が見るに伸力を有するかは疑問なるべし

（廣告）京城岡崎町九 電話一八四六番 大正石粉工業株式會社 振替口座京城五五七六番

後場氣重し

前場焦付模様の場面は阪地の持合ひを移し後場は益々氣乗薄となり當中出來ず先七十二錢と三丁安に寄付カ⊕全般の賣物に六十八錢と弱み因買に七十錢に引▲第二節 當出來ず先七十一錢より買物薄に乘じ⊕全般の賣物に六十四錢と押し五錢頭重く引▲第三節 當中依然出來ず先六十三錢より二錢と下迫りせしも押目は買方の警戒に五錢と締り三四錢を持合ひ結局五錢と引

（廣告）仁川米豆取引所仲買人 ㊄仲買店 仁川海岸町三丁目 電話長四四番・八三三番

	十六日 前場
平均値段	寄付 四九、八五 / 高値 四九、七五 / 安値 四九、七〇 / 止め 四九、七二
一節	四九、七一
二節	四九、七二
三節	四九、六八
四節	四九、六四
五節	四九、七六
出來高	十二萬六千八百石
一日出來高	四八、一五
帳入値段	四九、八二

市場雜觀

愈々相場は持合ふて來たが此保合は岐れて如何に分岐するかは容易に窺知し難きも結局は正米の實勢と阪地の成行に歸着する者と思ふ去れば内地の形勢は何となく底強く限月高は免れぬ傾向を移し來るが現今の鮮米状態は

	取組高
先限	四萬四千石
中限	一萬九千百石
當限	六千九百石

京城正米市場

昨今商揚しき出穀を見ず一般も昨報の如く附近地主の持米處分急ぎの振合ひあるこ其他の地方も概して金融、値頃、荷節季等の關係にて彌々賣崩さしの傾向あるやに傳へられ精米筋は眼光一致して弦何れも高値安換へに一致して弦何れも相變らず

白米氣緩るむ

昨今の白米は頃日來原料の漸騰を受けて市中卸値は既に數回の値上げを發表し且つ大邱鳥致院方面の精米所は若干の前約殘りあるも其他は不中部各爭奪の傾向ありしが今内地移出依然杜絶の場合原料は別頃の如く一層一般安含みの商狀となりたれど引渡しに於ては既に眼先の成行を見越し賣騰裝分緩るみて今後市況は二十錢内外を引下げし向きあり勞他の手口も自然之れに附隨し來らん模樣なり

滿洲粟不引立

滿洲粟は前報事情の下に相變らず人氣不引立ちなるが値安の手放し物なき爲め氣配は依然持合狀態を示し今朝は長春現物三車二十二圓三十錢滿城現物三車二十二圓八十五錢長春二月積三車二十一圓三十錢公主嶺一月積二十二圓四十五錢四平街一二月積五車二十二圓四十錢に手合せ行はれ氣乗薄の裡に弱々買賣を見つゝあり

大豆は好調

大豆は需要期に向ひ滿洲物の高値關係上昨今内地移出向弗々引合ひ來れるに連れ多少買氣を進むる爲め振合ひなるも大盤の爲め商談意の如く運ばず引續き目立ちたる賣買なしと雖氣配はゾリゾリ好調を示し今朝は昌灘現物乘りの二十九圓五十錢にて四百五十叺出來せり

仁川正米閑散

出廻り並に買物の氣態より見れば正米は舊正節季の關係か漸次増加を示し買方の見送りこ

釜山正米市場

内地期米引續き軟弱なるに伴れ釜山正米市場も人氣は弱含みなるも賣方の賣比較的堅く相場持合の三等神力四十九圓三四十錢穀良四十九圓六十錢所にて一千五百叺出來大豆は商狀變化なく
淡商内（十六日釜山）

（廣告）仁川米豆取引所仲買人 ㊀今村覺次郎 仁川海岸町三丁目 電話長三三八番 五三七番

大阪三品特電

◎十六日前場

限月	値段
一月限	六二九、九〇
二月限	……
三月限	……
四月限	……
五月限	五八九、〇〇
六月限	……

綿糸反騰す

昨前場米棉安の材料に小安の報を入れし大阪三品も昨後場以來反撥しこなり今前場は當限五百八十九圓とし今朝は二十九圓六十五錢の締返へしを演じたるが如き同方の報場の海外事情も人氣の仕入の關係より如何に推移するや始ご見當つかず只時計の推移待機様々な場合に株式米穀の利害を來なく斯界人氣を惹き難き模様なり

粗布獨り好調

綿糸布相場は相變らず不景氣續き閑散を示し内地相場の反騰も共利目新らしきも無く三エ一現物ガス糸市中の品は別として雖も糸布は市中品不良なり二ふ見て只中商内の聞かざると稍品も又强氣なるを示せし賣み難き模樣なり

染料一部暴騰

平和克復に伴ふ對獨取引開始により同國染料の輸入契約成立して來る四月中旬前後には第一回の輸入を見るべき豫定にて同業者間に於ては昨今之を眼先の弱材料として其成行きを懸念せる向少なからずと雖も休戰以來對米一屬增したるやに五百六十二六七圓方の取組行はれ昨午前中に一圓迄の好況を持し今朝は買氣にレに獨り昂騰を示せり

其他の輸入契約者への結果として近來本邦在荷極度の拂底を前の需給關係不圓滑を喚して新に入り諸品一齊に高歩調を辿り中にも最も需要の範圍廣きオゾロミン及ブラックの如き殊に一上げ上騰したり又內地製品中レンジ硫化に至つては藥品工替其他の生産費用の増高により益々割乃至弱方の暴騰を演じ尚且つ内地同業者間に於ては一部持品に對する維持策として一部持品に對する其他の生産費用のトラスト計畫の徴あるなど斯界の前途は容易に即斷し難く而かも獨逸品としても戰時中の諸物の昂騰を受けたるのみならず戰時中に於ては政府より或種の意味を以つて補助を受けたる生産品の副産物として低廉に供給し得られたる染料も戰後國體の變化に改造の結果として同品生産狀態にも一大革命を來せる外燃料炭の供給殊に困難の現狀なれば今後例令輸入を見るとも他の歐米品に對し戰前の如く競爭場裡に立つ事を得るや否や疑問とせられつゝある丈けに春期需要を控への斯界は一般前途樂觀の模樣あり

皮革類漸騰

皮革類は昨年初夏以來米國品の暴騰と内地製品の生産費増高につれ市價漸騰の一途を辿り昨今にては米利堅象皮二百五十圓ドル三圓五十錢と空前の高値を呼ぶに至りしが鮮内需給の關係は極めて順調を呈し兹輪移入品滯澤と云ふべき方ならも特種の品は品不足を告げ居れり

（廣告）戰爭犯人名簿 クレマンソー氏が次期大統領に選擧さるべき事は愈々確實となり…（旦里電報）

（廣告）德華銀行競賣 公使館區域内の德華銀行は米支銀行に讓渡さる、筈なりしが和蘭公使の異議に依り競賣に附すること決定せり但し明日は未だ…

（廣告）糖尿病 新發見 ラシング錠 糖尿病にて永年悲境に陷り種々なる療法を試みるも其甲斐なく治し得ざるもの…（大阪市東區…メールオーダー商社 振替大阪三〇一八五番）

（廣告）目ニ見ヘテ ズンズンキク シマズイタマヌ ロート目藥 井上博士 全國各藥店にあり 本舗東京・大阪：山田安民藥房

（廣告）平板 鐵板 鍍鍋品 佐野彥金物店 京城本町一丁目 電話一六三番 振替京城二三〇番

（廣告）學校組合書記募集 英國ダヨナス會社製膏紙附 精米所

（廣告）東京蒲田驛前 日本自動車學校

（廣告）マホー袋 實用新案 京城永樂町二丁目 東京屋商店 京城日報代理部

（廣告）御旅行には必ず此の鞄を 内田靴鞄店 京城本町

（廣告）賛化病院 内科 小兒科 入院隨意 施療す 古城憲治 打田義芳

（廣告）京日案内 農事經營者を求む 薬局生 齋藤醫院 社員に給仕 有隣生命 電話讓る 勤社員招聘 毛皮なめし 年金恩給 江州屋本店 古本高價買入 文光堂書店

（廣告）鶉卵配達開始 京城本町一丁目 守山鶉飼育所

（廣告）川合時計店 京城本町二丁目 電話一九一八

（廣告）募集 チアテルミー係 助手 同上女助手 京城日報社代理部

（廣告）KAZEPIRIN カゼピリン 風邪には 大學病院撰範方劑 本舗 朝鮮滿洲の特約店に販賣 天眞堂製藥會社

（廣告）新製キタ調革 新田帶革 朝鮮總代理店 仁川本町四丁目 白神洋行 京城南大門外 白神洋行支店

（廣告）株式名義書換停止公告 來る一月二十七日より第三回通常株主總會終了迄株式名義書換を停止ス 大正九年一月十六日 株式會社朝鮮殖産銀行

（廣告）謹賀新年 東京市日本橋區小網町二丁目 東京株式取引所仲買人 吉村松諒商店

（廣告）謝近火御見舞 大邱府八雲町 小口組支店 主任 馬場

（廣告）謝近火御見舞 大邱府八雲町 龜石商店

（廣告）謝近火御見舞 大邱府元町 杉原商店

（廣告）内地御贈答 朝鮮名物 風味佳絶 絶好品 明太魚からすみ 淡陽高麗燒窯元 朝鮮物産商 海市商會 京城本町 電話二五〇番

（廣告）昨日失火の節は早速御馳付御盡力被下御厚情難有御禮申上候一々御禮可仕の處混雜の際尊名伺洩れも計不取敢以紙上御厚禮申上候 一月十六日 京城南米倉町八五番地 大塚製粉所 大塚藤三

（廣告）内科 小兒科 入院隨意 チアテルミー科 中島醫院 院主 中島貞 京城府明治町二丁目 電話二七八番

（廣告）手足耳のかゆみいたみたゞれくずれによくきく 猿馬印 ふもやけ根切薬 全國薬店に有 本舗 東京日本橋區上槇町三 安川晃榮堂

（廣告）新製バイオレット芳香入 シスター石鹸 純質保証 大阪 衆津石鹸製造所謹製

夜の蜘蛛

江見水蔭

押繪 近藤紫雲

「七十五」

池上本門寺の境内には、立派な墓が澤山有る。石垣で圍んだり、鐵柵で取卷いたり、或は生垣で區切りをしたりしてある。其中に、大きな石碑が數多く建てあるので、其間に入ると、一寸人目には着かぬ。時としては乞食が宿にする事があり、又衒渋が隱れたりする事があるので、寺男は始終巡視してゐるのだが、それでも矢張り入込んで、狐鼠々々と密話する者が絶ゑぬとやら。

其所の中でも別して人目に着かぬ墓地が、五重塔横の奥にある、其所に葬られてゐる故人は好い面の皮で、墓石に腰を掛けられて、頭の上で時には痴話喧嘩なぞ始まるのだ。現代人の無恥は何處まで行くか溜つたもので無い。

此所を如何して知つたのか、彌次は淀子を連れて入込んだ。恐らく何處か密談に好い處はないかと探し／＼歩いてゐる内に、自然に此處へ來る樣に成るのと見ゑて、墓石の間は卷煙草の吸殼や燐寸の摺り殼が澤山捨ててある。

『ねゝ小糸さん、羽田で置去りにしたのは、あれは全くあの時の發動機の加減なんで。決して僕はアレ切り迎へに來ない氣でゐた譯では無かつたのだからね。あれから僕は金を苦面する爲にどの位骨を折つたか知れないんだよ。處がね、間の惡い時には惡いもので……』

彌次は頻りに辯解しやうとした。

『そんな事は最う何うでも好いのです。妾はそれ處では無いんです』

淀子は頭垂れて考へてばかりゐる。

猜疑なる彌次が、それを見て疑念を挾まずにゐる譯が無い。

『どうも變だね。お前は何うかしてるんだね……』

『ね、……』

『一體まァ何うして池上へ來たんだい。實は俺が市之谷の自動車學校で遊んでゐると、其前を通る伜の客が、どうも君らしかつたので、直ぐ後を尾けて來たんだが。昭和機へ入らうとして入らなかつたのは、僕に尾けられたと覺つたので、わざと此方へ反れたのだらうが。おい、隱さないで云ふが好いぜ。新情夫が出來て、それと暇で出會ひする約束で來たんだらう。ね、おい然うに違ひないだらうが』

『いゝえ、そんな事は有りませんわ』

『おい／＼、カルメン。僕に隱す事は有るまいぜ。新しいのが出來たのなら出來たと告白して了へ。さへ與れゝば、僕だつて野暮は云はないんだよ』

『今日は決してそんな譯では無いんです』

『ぢやア何だッて池上まで一人で來んだい』

『餘り氣がクサ／＼するので、散歩に此處まで來て見たんです』

『おい巫山戲ッ子無しに仕やうぜ。そんな甘口に乘るダムダム彈次ぢやアねゑよ』

『それが彈次さん、昔の小糸なら然うでせうが此頃の妾は違ふのですよ』

『如何違ふのだ』

『改心したのですわ』

『ふ、ふン、カルメン小糸が改心するといふのは、印度人の顏が眞白に成るより難しいんだ』

『いゝえ、それが眞劍なんですわ』

『へゑ、それは又如何いふ譯で……』

皮膚科 專門 外科 扇田醫院 京城太平通二丁目 電話二一二八番

日報歌壇

冬夜哀唱
—病める盛田臨氏へ—
草野 藍彥（京城）

終日夜すがら餓りてある君を淋しからむと今日も訪へるも

今日はしも如何に訪ふ君がしさ我の心のたゞならなくに

いまだかも床にこやれる君故に今日は『椿姫』もちて訪へるも

元日の盃をこやりて煙草吸ふ君が手頸の細くは見ゆれ

あはれかも机の上の水甕凍りてさけす元日の晝

剝かれし蜜柑の皮の置かれてゐて中ば袋の殘りてありけり

ひれもすを床に籠るは味氣なし折く云ふ君に何かさみしき

たまさかに快けれぱすなはちに起出て街に行かむと云ふ君

明日は起き街に行かむと云ふ君に心のぬれて涙ぐましも

樂しかるこの正月を籠りゐて徒然なれば妹の羽根つく

□ 衣川 幽子（龍山）

一人去り將た二人去り我師の訓へ限りに友の影無し

忍從の翼も折れまさ振りかゝるけに泣きぬれ生き行く我ぞ

幽冥の世界の人はある夜きて耳許近く何かさゝやく

ある時は佛の心ある時は鬼の心に我は棲むなり

□ 西 さかね（龍山）

うらゝけき朝の光に池の端の梅けざやかに影落したり

枝おろす木鋏の音午近き病ひの床に親しく聞ゆ

夜空掩ひ立てるゆき雲眼にしるく雪ともならで移ろひて行く

□ 岩木 蒼星（仁川）

『悲しみを何處に照れむ』灰色の海に照れて世の外に出づ

かはたれば水平線に迫りけり門司の港よさらば消ゆかし

船は往く港の玄海遠光と冬の月さゆ妹のまぼろし

西東北も南もはてしなし此の大灘を漂ふいのち

マドロスと云はば云ふべき淺資服に包める命いとしも

たまきはる生命畏し陸憩ひし夜さむさのけじめあらなく

規約　我歌壇は來る者は拒まず去る者は追はず△詠草は明確に認めて十首以内の事△字體を明確に認し住所姓名を明記され度し

日報詩壇

銀夜の跪禱
立花 聖路

月光の調べは聖く晃晃と

渺茫とした大氣の莊麗よ。

あゝ此の大地の神祕と透明

無限の驚異と

只眞實の感謝とを捧げる爲に

私はどうしても跪き

手を合せずにはゐられない。

何と言ふ偉大……

何んと言ふ大古の創造

あゝ此手、此足、この唇

今宵に限つて

かくも聖く美しく輝くとは。

聞けよ、人々

聞ゆるは

何處にか父なる神のうるみある御聲

『吾が子等よ

たゞ安らけく働けよ、いねむれよ

永遠の創造を父は持てり』と

あゝ尊きは神の惠みよ

はるかなる山も川も

草も木も

地にひれふして感謝に輝く（銀）

新刊紹介

▼伊太利の旅（大西錦之介著）史的情景に富める伊太利に遊びて彼地の趣味ある國情を表裏より描きたる書（二圓、東京日本橋區本石町三丁目寳文館）

▼都市問題の研究（長野宮一郎述）都市の發達に伴ふ制度施設の改善法を熱心に研究して發表したるもの、進歩せる歐米の都市に關する事情を詳記し都市の豫算、財源、市政、公營權、衛生、消防火保健、住宅問題、娛樂と餘暇問題其他を十五章に分ちて記述す（一圓五十錢、東京赤坂區溜池三一中央報德會）

▼物價騰貴の眞相（佐藤密藏著）物價騰貴の現狀より說き起して物價の緩和及び調節の根本策に言及したる著者の意見は一々傾聽に値す（一圓十錢、東京神田區錦町一梅津書店）

△大日本百科大辭典の五、六、七、八、十卷の内出品代價にて御讓り下さる方はありませんか（總番一七七五番へ）△松田某と某兄弟商會と御した兩傘を御忘れの方があります御心當りの方は取りに入らして下さい（日出小學校前文具店）△廿六日の午後七時か八時頃松園附近から京城驛附近の途中か又は内で茶色のモスの紙入を御拾ひになつた方は何卒本欄で御報せ下さいませ價格は三圓位で包んでありました（心配小僧）△某洋品店が現金薄利實用の由早速試買致候處、一段は少々他店より安いが目方は百匁の物が八十二匁より無之却つて割高に付きました目方を少し確實に願たい（物ダー）△押し迫る歲の瀨に正月の準備に忙がしい人もある一面に於ては吾人の如き一片の餅さへ求むることの出來ぬ者もある識者意氣地なしと笑ふ勿れ物價騰貴の世の中に四十に足らぬ安月給で家族四人暮らし其の上故郷には貧しく暮らす兩親が月々僅かの送金を待さも枉さも頼み待ち詫びつゝある今日惡性感冒は遠慮なく一家を襲ひ而も中途半把の就職で一文の貸與には有りつけず將來如何にして子女の教育に僞さんかと精神上の苦痛である此の際緊縮一番利潤なる勞力に依り收入の途を求め將來子女の教育費に充てむとす幸に仁愛なる篤志家の御同情に訴ふ（内職を求む（獨行生）

ろいれきさ グリグリ

首筋耳の下胸に出來て困る人傳來靈藥にて病人助け 丁寧に知らす 京城府明石町新方 キラズ 清水寺

職業　遠近男女共自宅で手輕に出來るキレーな仕事 一ヶ月八圓以上 年中無休 見本付說明書は郵券十五錢を要す 東京本鄕一丁目八ノ三九五 三晃本店

内務省令甲種
自動車運轉手養成
一月十五日開始

諸君ハ自動車ノ如何ニ有利ナル職業ナルカヲ御存知デアラウ……

◎教授ノ方法　……

◎入學手續　……

東京自動車學校 京城分校
京城府黄金町二丁目角 振替口座京城七一八番 電話長二〇六番

りん病 淋疾 急性慢性を問はず全治速なり
ルーデサック 特品

味の素

發明は――池田理學博士

原料は――小麥の蛋白質

東京帝國大學教授池田理學博士は四味の外に『旨い』『美味しい』といふ味がなければならぬと考へ付いて、苦心研究、丁度四年の星霜を經て遂に學名『グルタミン酸鹽』といふのが即ち美味い旨いと云ふ原素であることを發見され、これを食鹽や砂糖のやうに一つの物體として採り集むる事をも發明されました。この有益なる發明に對しては各文明國の學界でも衷心から讚辭を惜みませんでした。殊に我日本政府をはじめ、英米佛の各國政府も皆それ／＼專賣特許權を附與して學者が多年の功勞に酬いました。

味の素は小麥の蛋白質を原料として功妙なる機械力と微妙なる化學の力とを以つて製造したるものにして最初小麥を粉末としたる後與水化物と蛋白質『味の素原料』とに分離し之れを分解したる上濾過し又真空罐にて蒸發し更に冷却器にて放冷し而不純物を除去する爲め脫水加熱再製漂白乾燥粉末等種々の作業と各種の機械とを經て漸く味の素となるので、其間實に永い幾多の日子を要するのであります。

味の素 見本進呈 印刷物呈 本舖 鈴木商店 東京 大阪

春の寒さにお心置なく……

◇髮際に 荒れを止める

◇お顏は 若々しくする

◇頁から 小皺が寄らぬ

若々しくする新美膚料

クレームレート

クレームレートを皮膚に擦り込まれますと、地肌から整へてゆきますから、どんな荒れでも止める上に、小皺を伸ばして、お顏を艶々と若々しくいたします。お粉刷き化粧下として、粉刷きを遊されば、お手輕に美事な薄化粧が出來ます。此等の實驗はいつも三越のお化粧室で試されて居ります。御覽を願ひます。

本舖 東京 大阪 平尾贊平商店

大阪商船 汽船出帆
仁川出帆
△木浦大阪行 安東丸 一月 日後四時
△信濃川丸 一月 日後四時
△群山大阪行 大進丸 一月 日後四時
元山出帆
清津行 安平丸 一月 日後九時
釜山門司宇品神戸大阪行 安平丸 一月 日後上時
大連出帆
上海基隆打狗行 湖北丸 一月 日前
北嶺丸 一月 日前
内地各港出帆主要航路
歐洲行 一年四回化米行毎月
南米行 一年四回 孟買行 毎月
濠洲行 毎月 ……

共同汽船 仁川出帆
△大連直行 第二十一共同丸 一月十九日 午後
△青島直行 第十六共同丸 一月 日
△大連直行 第三十二共同丸 一月 日
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店 ……
元山代理店 ……
京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆
天候其他の事情に依り發着日時變更することあるべし
△敦賀行 城津元山經由 一月廿一日 元山 …
△浦潮行 大連名港經由 一月廿四日 …
雄基丸 一月廿六日 … 忠清丸 一月三十一日 …
△元山線 鏡城丸 一月廿七日 …
△大阪行 平安丸 一月十六日 …
△關門行 忠清丸 一月十八日 … 京畿丸 二月四日 …
△金剛山遊覽便 …
△鬱陵島行 …
△釜山浦項線 …
△濟州島行 …
△東廻 西廻 …
△釜山麗水線 …
△木浦麗水線 …
△多島海行 …
△木浦行 …
△海州行 …
△鎭南浦行 …
△大連青島行 江原丸 一月廿三日 芝罘經由
朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡便アリ
本社 京城南大門 電話長一九五二三
釜山支店 元山出張所 仁川出張所 木浦代理店 京城荷客取扱
其他各寄港地ニ取扱店アリ